

淀川水系猪名川下流ブロック河川整備計画（原案）

<参考資料>

平成29年3月

大阪府

— 目 次 —

第 1 章	河川整備計画の目標に関する事項.....	1	第 2 章	河川整備の実施に関する事項.....	79
第 1 節	流域及び河川の概要.....	1	第 1 節	河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により 設置される河川管理施設の機能の概要.....	79
1.	流域の概要.....	1	1.	洪水対策.....	79
2.	流域の特性.....	2	2.	河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持.....	82
3.	河川の特性.....	22	3.	河川環境の整備と保全.....	82
第 2 節	河川整備の現状と課題.....	30	第 2 節	河川の維持の目的、種類及び施行の場所.....	83
1.	治水の現状と課題.....	30	1.	河川管理施設.....	83
2.	河川利用及び河川環境の現状と課題.....	32	2.	許可工作物.....	83
第 3 節	流域の将来像.....	38	3.	河川空間の管理.....	83
第 4 節	河川整備計画の目標.....	45	第 3 章	その他河川整備を総合的に行うために必要な事項.....	84
1.	洪水、高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する目標.....	45	第 1 節	地域や関係機関との連携に関する事項.....	84
2.	河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標.....	46	第 2 節	河川情報の提供に関する事項.....	84
3.	河川環境の整備と保全に関する目標.....	47			
4.	河川整備計画の計画対象区間.....	47			
5.	河川整備計画の計画対象期間.....	47			
6.	本計画の適用.....	47			

第1章 河川整備計画の目標に関する事項

第1節 流域及び河川の概要

1. 流域の概要

猪名川下流ブロックは、大阪府北部の豊能地域に位置し、北摂山地に源を発し、猪名川に合流する余野川、箕面川と、北大阪丘陵に源を発し、猪名川に合流する千里川、神田川、一庫・大路次川に注ぐ初谷川の各流域から構成されます（図-1.1）。

余野川の流路延長は約 15.5km、流域面積は約 45km²で、上流で石田川、切畑川、木代川の支川が流入しています。箕面川の流路延長は約 12.4km、流域面積は約 24km²で箕面川ダムを有し、茶長阪川と石澄川の支川が流入しています。千里川の流路延長は約 10.7km、流域面積は約 14 km²で芋川と箕面鍋田川の支川が流入しています。初谷川の流路延長は約 2.8km、流域面積は約 8.6 km²となっています（表-1.1）。

猪名川下流ブロックに関連する大阪府域の自治体は、豊中市、池田市、箕面市、豊能町の3市1町にまたがっており、ブロックの南部は大阪平野と接する猪名川低地、中部から北部に掛けては北摂山地とそれに続く北大阪丘陵による起伏に富んだ地形となっています。大阪市内から 20km の距離にあるため、平地から丘陵地、さらに山麓周縁まで住宅地を中心とした市街化が進んでいます。山間部には「明治の森箕面 国定公園」があり、大阪都心から近い自然観光地として明治時代から多くの観光客が訪れています。また、古くから信仰の場として多くの寺社が創建され、修験者が行き来しました。

表-1.1 対象河川諸元

河川名	流域面積 (km ²)	指定区間延長 (km)
猪名川	383.0	1.195
余野川	45.0	15.449
木代川	5.5	1.912
切畑川	4.5	1.990
石田川	1.6	1.586
箕面川	23.6	12.402
石澄川	2.8	2.258
茶長阪川	1.7	1.150
千里川	14.0	10.696
箕面鍋田川	1.8	1.589
芋川	2.0	1.083
初谷川	8.6	2.775
神田川	2.5	0.070
合計		54.155

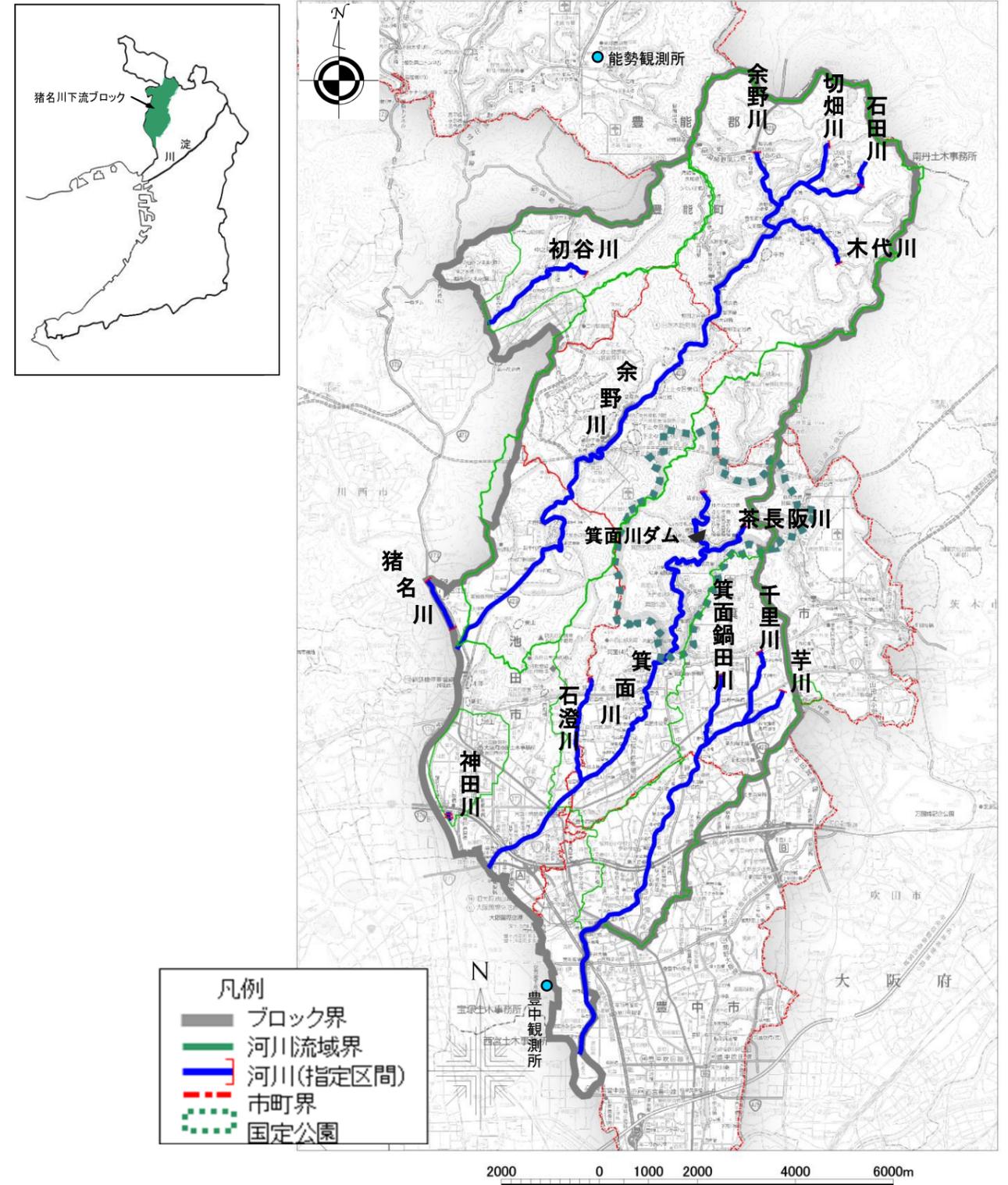


図-1.1 猪名川下流ブロック流域図

2. 流域の特性

(1) 自然環境特性

1) 地形・地質

猪名川下流ブロックの地形は、大阪平野、猪名川低地から北大阪丘陵、北摂山地へと続き、北部の山間部には扇状地性低地が点在し、南部には千里丘陵などの中低位の段丘地形と扇状地性低地により構成されています。

地質は、山地部で主に六甲山陰型花崗岩類と、砂岩、泥岩から構成される丹波層群からなり、丘陵地は礫、低地は砂、礫、粘土の互層で構成される、大阪層群となっています(図-1.2)。

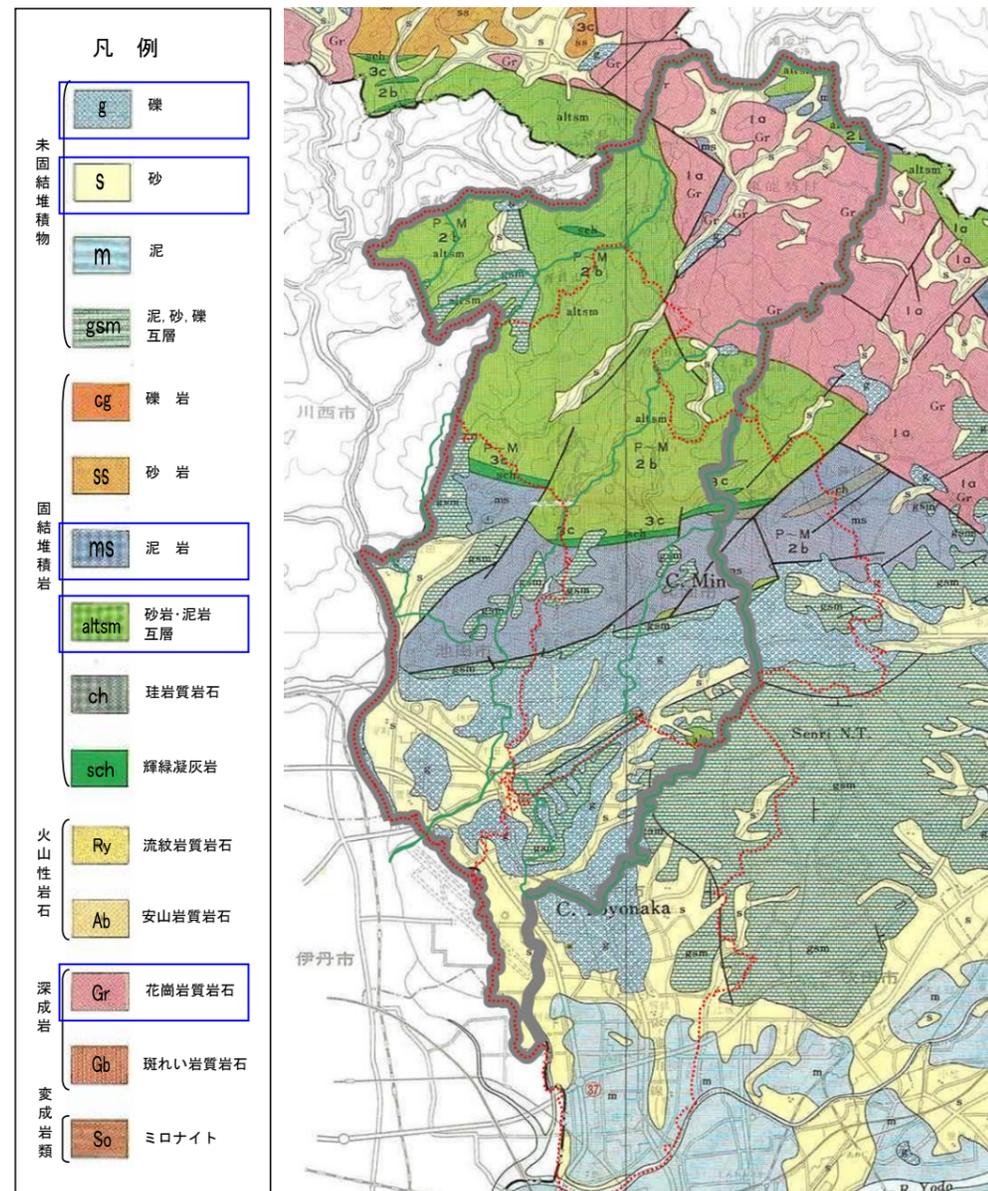


図-1.2 表層地質図

出典：日本地図センター（昭和51年）

2) 気候

猪名川下流ブロックの気候は、温暖で降水量の少ない瀬戸内式気候に属し、ブロック南部に設置されている大阪管区気象台豊中観測所における昭和56年～平成22年までの30年間の年平均気温は約16℃と温暖で、年間降水量が約1,280mm（全国平均約1,700mm）となっています(図-1.3)。

一方、ブロックの北部周辺に設置されている大阪管区気象台能勢観測所における昭和56年～平成22年までの30年間の年平均気温は約13.5℃で、年間降水量が約1,400mmとなっています(図-1.4)。

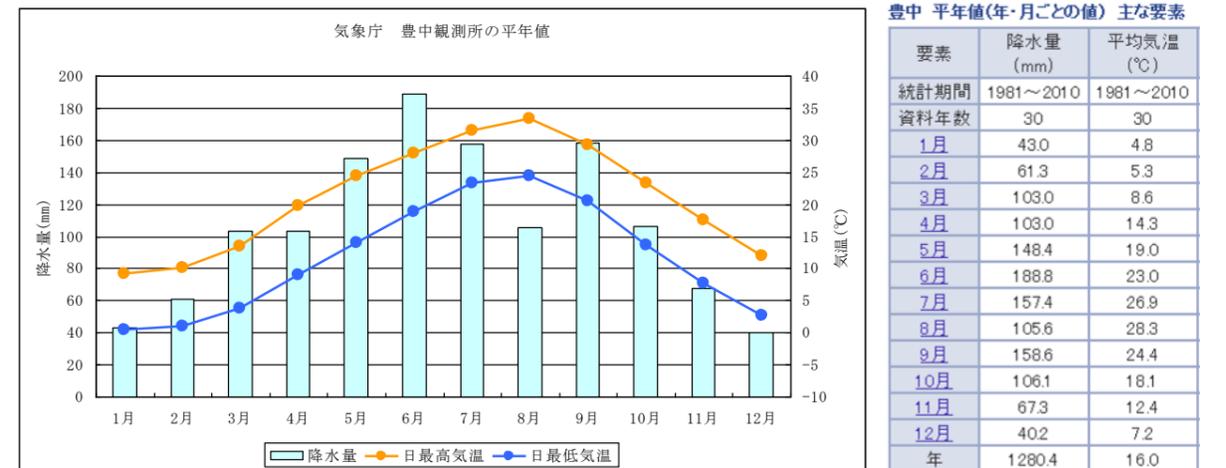


図-1.3 豊中観測所の月別の降水量と気温（昭和56～平成22年：30年間）

出典：気象庁HPより作成

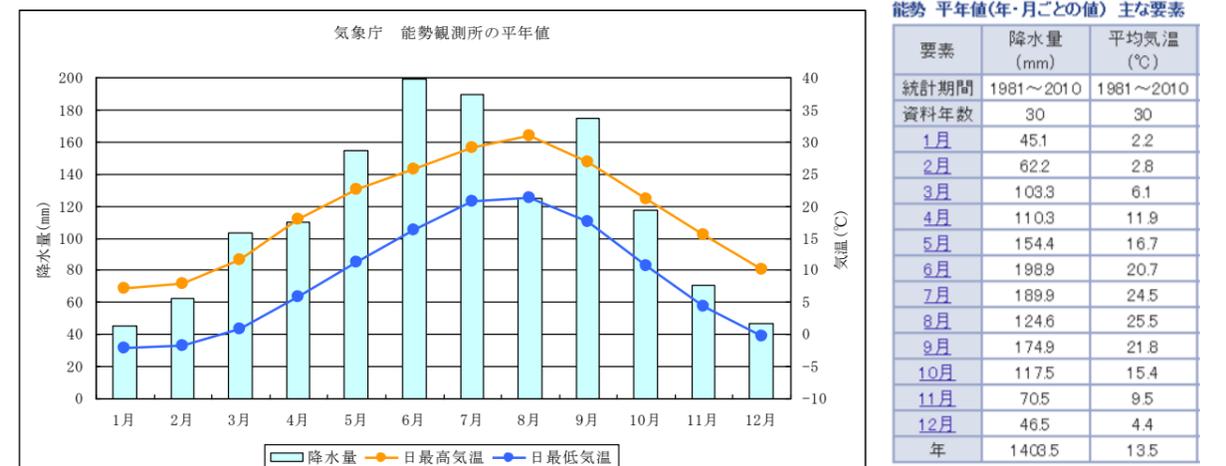


図-1.4 能勢観測所の月別の降水量と気温（昭和56～平成22年：30年間）

出典：気象庁HPより作成

3) 自然環境

①植生

猪名川下流ブロックの植生は、自然環境保全基礎調査¹⁾(第3回、第6回、第7回)の現存植生図によると、山地部の大部分をスギ・ヒノキ・サワラ植林やヤブムラサキ・コナラ群集で占めています。山地部の森林の4割がスギ・ヒノキ等の人工林で、箕面川から余野川上流にかけて広がり、自然林は余野川流域に広がっています。流域内の「明治の森箕面国定公園」には広範囲に特定植物群落「イロハモミジ・ケヤキ林」が見られ、五月山南面にはアベマキ・コナラ群集が見られます。流域北部の妙見山頂付近には大阪府北摂唯一のブナ林が見られます(図-1.5)(表-1.2)。

また、森林の保全が、大阪府立北摂自然公園(豊能町の妙見山地区)指定地、「明治の森箕面国定公園」の中心に位置する箕面国有林において行なわれています。

一方で、近年、北摂全体でナラ枯れ被害の報告がされています。

②鳥類

猪名川下流ブロックの鳥類は、平成27年度に行われた箕面北部丘陵での調査によると、28科38種が確認されています。このうち、水辺とのかかわりがある種が9種確認されており、カワガラス(大阪府レッドリスト：準絶滅危惧)、コチドリ(大阪府レッドリスト：準絶滅危惧)、カワセミ等が確認されています(表-1.3)。

③哺乳類

猪名川下流ブロックの哺乳類は、国が行なった余野川ダム事業における環境調査結果(H18.7)によれば、ニホンジカ、イノシシ、アナグマ、キツネ、タヌキの他、ニホンリス、イタチが確認されています。また、コウモリ類のキクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリ等も確認されています。また、「箕面山サル生息地」は、国指定の史跡名勝天然記念物に指定されています。

近年、外来種のアライグマ、ヌートリアによる農林被害や生態系への影響などが問題となっており、アライグマについては「第3期大阪府アライグマ防除実施計画」を平成28年4月に策定(大阪府環境農林水産部)して捕獲及びモニタリングが行なわれ、ヌートリアについては生息状況等の調査が進められています。

④昆虫類

猪名川下流ブロックの昆虫類は、国が行なった余野川ダム事業における環境調査結果(H18.7)によれば、グンバイトンボ、ミヤマカワトンボ、ミズムシ、ナガミズムシ、ゲンジホタル等の河川及び池沼環境に生息する種や、オオムラサキ、セセリチョウ類、シジミチョウ類等の樹林帯に生息する種が確認されています。

また、箕面一帯は東京の高尾山、京都の貴船と並び、日本の昆虫の三大宝庫として知られており、「明治の森箕面国定公園」にはおよそ3,000種の昆虫を数えるとされています。

⑤両生・爬虫類

猪名川下流ブロックの両生・爬虫類は、平成27年度に行われた箕面北部丘陵での調査によると、4科5種が確認されています。このなかには、アカハライモリ(環境省レッドリスト：準絶滅危惧、大阪府レッドリスト：準絶滅危惧)、トノサマガエル(環境省レッドリスト：準絶滅危惧、大阪府レッドリスト：準絶滅危惧)、モリアオガエル等が確認されています(表-1.4)(表-1.5)。

その他、余野川や箕面川ではオオサンショウウオ(特別天然記念物、環境省レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類、大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類)の生息が確認されています。

⑥魚類

猪名川下流ブロックの魚類は、余野川、箕面川、千里川の3河川での平成7年度～平成26年度の調査で33種の生息が確認されています。

余野川では、16種、うち貴重種(大阪府レッドリスト)6種が確認され、全川でカワヨシノボリ、カワムツ、中流でドンコ、中下流でシマドジョウ、下流でオイカワが見られます。外来種のおオクチバスが下流で確認されています。箕面川では、7種、うち貴重種(大阪府レッドリスト)2種が確認され、上流でカワムツ、カワヨシノボリ、中流でオイカワ、タカハヤ、ドジョウが見られます。千里川では29種、うち貴重種(大阪府レッドリスト)は7種が確認され、中上流にカワムツが、中下流にオイカワが見られます。ドジョウは上中下流で、ナマズ、コイなどの大型魚や外来種のおオクチバス、ブルーギルが下流で見られます。なお環境省レッドリスト種は出現していませんが、ムギツク(大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類)は余野川下流と箕面川中流で、ギギ(大阪府レッドリスト：準絶滅危惧類)は余野川下流と千里川下流で見られます(図-1.6)(表-1.6)。

余野川、箕面川、千里川の3河川での魚類調査結果より、瀬と淵が形成されている比較的多様な環境を必要とするカワムツと浅く開けた場所(平瀬)を好むオイカワの生息状況を見ると、余野川の下流、千里川の中下流ではオイカワの方が多く確認されており、余野川の上流、箕面川の上流、千里川の上流でカワムツが多く確認されています。

上記の3河川では、オイカワの生息状況より下流で比較的単調な河川になっていること、カワムツの生息状況より上流は多様な環境が残っていることが伺えます。

⑦水生生物(底生動物)

猪名川下流ブロックの水生生物(底生動物)は、平成7年度～平成26年度の調査をまとめると、余野川は143種、箕面川110種、千里川76種が確認され、そのうち貴重種(環境省レッドリストあるいは大阪府レッドリスト)は、余野川でモノアラガイ、マシジミ、ミズカマキリ、フタスジキソトビケラ、シジミガムシ、箕面川でモノアラガイ、千里川でマシジミ、その他の生物では、ゲンジボタルが余野川と箕面川で確認されています(図-1.7)(表-1.7)(表-1.8)。

¹⁾自然環境保全基礎調査：全国的な観点から我が国における自然環境の現況及び改変状況を把握し、自然環境保全の施策を推進するための基礎資料を整備するために、環境省が昭和48年度より自然環境保全法第4条の規定に基づきおおむね5年ごとに実施している調査。第1回は昭和48年度に実施。第2回は昭和53・54年度で実施。第3回は、昭和58～62年度で実施。第4回は、昭和63～平成4年度で実施。第5回は平成5～10年度で実施。第6回は、平成11年～16年度で実施。第7回は、平成17年度～実施(環境省自然環境局生物多様性センターHP)。

①植生

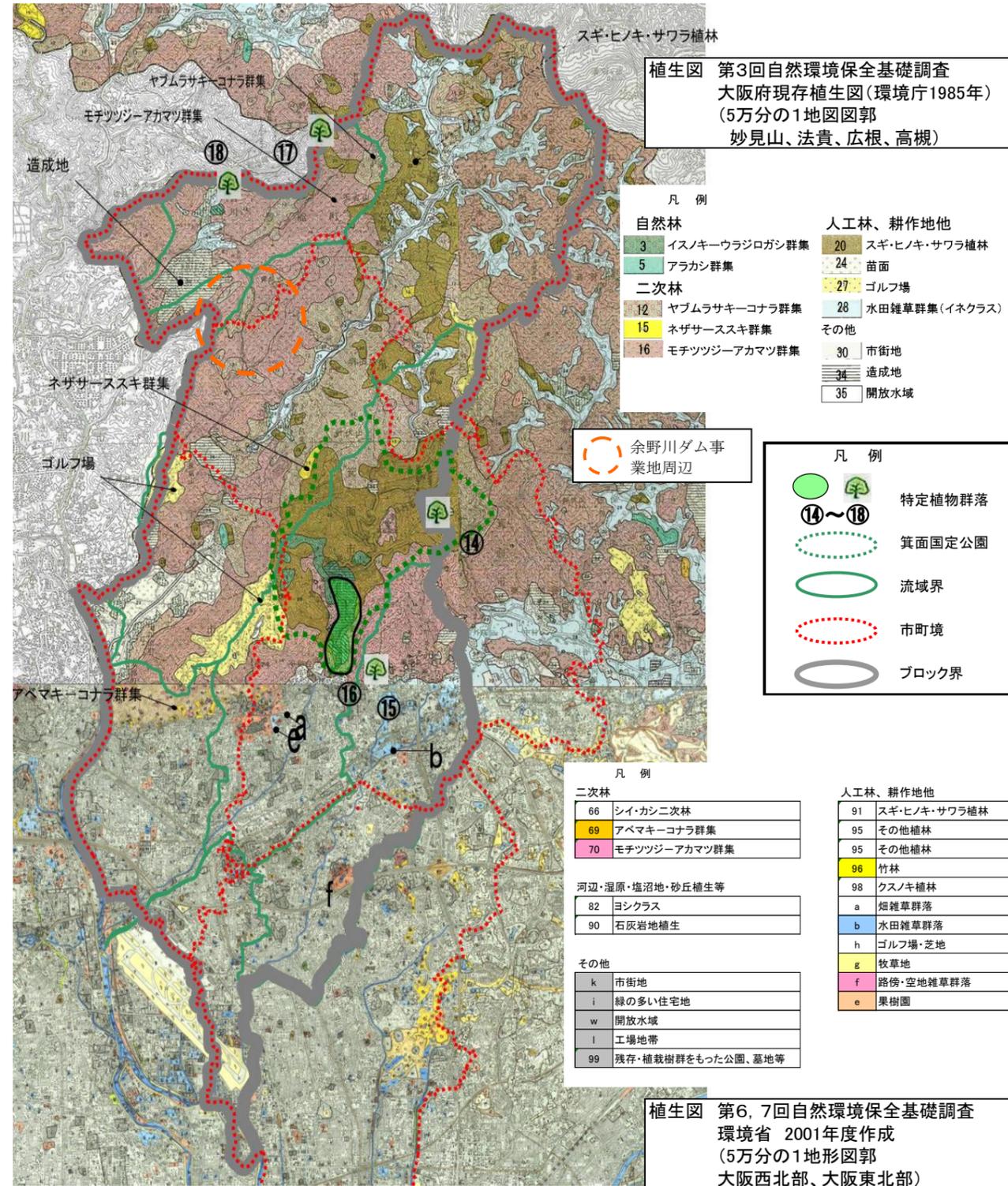


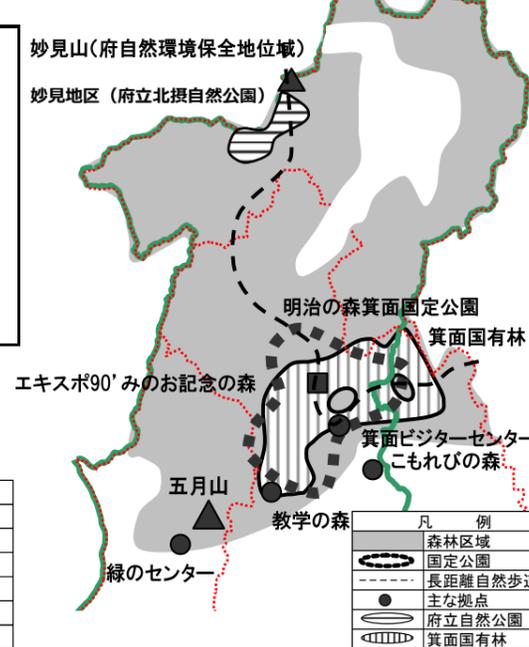
図-1.5 植生の状況図

表-1.2 特定植物群落一覧

NO.	件名	選定基準
14	勝尾寺のウラジロガシ林	郷土景観
15	箕面滝安寺のシイ林	原生林もしくはそれに近い自然林
16	箕面のイロハモミジ・ケヤキ林	原生林もしくはそれに近い自然林
17	能勢妙見山のブナ林	南限、北限、隔離分布等分布限界になる山地に見られる
18	吉川神社のシイ林	郷土景観

出典：第3回自然環境保全基礎調査 大阪府自然環境情報図(環境庁1989年)

C 森林区域図



[森林の状況]

3市1町の森林率は39%と府平均30%より高く、人工林率は29%と府平均の49%より低くなっています。

市名	市面積	森林面積	森林率	人工林面積	人工林率
	(ha)	(ha)	(%)	(ha)	(%)
豊中市	3,638	2	0%	0	0%
池田市	2,209	545	25%	58	11%
箕面市	4,784	2,781	58%	402	14%
豊能町	3,437	2,189	64%	1,120	51%
計	14,068	5,517	39%	1,580	29%

(出典：大阪の森林と林業)

[国定公園]

明治百年記念事業のひとつとして、東京都にある高尾山とともに昭和42年12月11日に国定公園に指定。箕面山の山麓に広がる、大阪府箕面公園とその周辺の山林のあわせて963haが指定されています。

[大阪府立北摂自然公園] (大阪府立自然公園指定妙見山地区)

多様な動植物が生息し、地域の住民に親しまれてきた「里山」を開発から守り、自然公園法に基づき自然を生かした地域の環境整備、自然レクリエーションの場作りなど、総合的な地域振興を進めるため、大阪府は北摂山系に点在する10地区を「大阪府立北摂自然公園」に指定し、里山の保全に取り組んでいます。

[箕面国国有林 (590ha)]

明治の森箕面国定公園の中心地にあり、8割がスギ・ヒノキの人工林です。「レクリエーションの森」に指定されており、風歩道、自然探勝路、キャンプ場、園地などの施設があります。

第3回 自然環境保全基礎調査 大阪府現存植生図、大阪府自然環境情報図
 第6回・第7回 自然環境保全基礎調査 植生調査情報提供ホームページ
 第4回 自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木調査結果
 第6回 自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木調査結果
 環境省 自然環境局生物多様性センター

②鳥類

表-1.3 鳥類確認種リスト

No.	H	科	種名	学名	調査方法				生息区分	繁殖可能性		環境省		大阪府	京大近畿	
					ライン	ポイント	任意	合計		兆候	ランク	RDL	RDL	RDB		
					センサス	センサス	センサス			コード		2012	2014	2002		
1	カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	○	○	○	○	留鳥	50	c					
2	カッコー	カッコー	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	○		○	○	夏鳥	30	b				ランク3 準絶滅危惧(繁殖体数)	
3	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>		○	○	○	留鳥	50	c					
4	キジ	キジ	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>	○	○	○	○	留鳥(外来種)	30	b					
5	キツツキ	キツツキ	アオゲラ	<i>Ficus awokera</i>	○	○		○	留鳥	30	b				ランク3 準絶滅危惧(繁殖体数)	
6			コゲラ	<i>Dendrocoptes kizuki</i>	○	○	○	○	留鳥	30	b					
7	コウノトリ	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○	○		○	留鳥	50	c					
8	スズメ	アトリ	イカル	<i>Fophona personata</i>	○	○	○	○	留鳥(一部冬鳥)	30	b					
9			カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	○	○	○	○	留鳥(一部冬鳥)	30, 39	b					
10		ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	○	○	○	○	留鳥	30	b					
11			ヤブサメ	<i>Trospheia squameiceps</i>	○	○	○	○	夏鳥	30	b					
12		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	○	○	○	○	留鳥	50	c					
13		カササギ	オシロイ	<i>Troglodytes aedon</i>	○		○	○	夏鳥	30	b				ランク3 準絶滅危惧(繁殖体数)	
14		カラス	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	○	○	○	○	留鳥	50	c					
15			ハシボロガラス	<i>Corvus corone</i>	○	○	○	○	留鳥	50	c					
16		カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasi</i>		○		○	留鳥	30	b			準絶滅危惧	ランク3 準絶滅危惧(繁殖体数)	
17		シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	○	○	○	○	留鳥	30	b					
18			ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	○	○	○	○	留鳥	30	b					
19	セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	○	○	○	○	留鳥	30	b						
20		セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	○	○	○	○	留鳥	30	b						
21		ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>			○	○	留鳥	30	b						
22	ツグミ	イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	○	○	○	○	留鳥	39	b						
23	ツバメ	イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>	○	○	○	○	旅鳥(一部夏鳥)	50	c						
24		コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>	○	○	○	○	夏鳥	10, 40	a			準絶滅危惧			
25		ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	○	○	○	○	夏鳥	39, 40	b						
26	ハタオドリ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	○	○	○	○	留鳥	39, 10	b						
27	ヒタキ	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	○		○	○	夏鳥	30	b				ランク3 準絶滅危惧(繁殖体数)		
28		キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	○	○	○	○	夏鳥	30	b				ランク4 準絶滅危惧(繁殖体数)		
29	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	○	○	○	○	留鳥	30, 40	b				準絶滅危惧		
30	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Ilypsipetes amurotis</i>	○	○	○	○	留鳥	21, 40	a						
31	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	○	○	○	○	留鳥	30, 39	b						
32	ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	○		○	○	留鳥	50	c						
33	ムシクイ	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	○		○	○	夏鳥	30	b				準絶滅危惧(繁殖体数)		
34	メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	○	○	○	○	留鳥	30	b						
35	タカ	タカ	サシバ	<i>Buteo indicus</i>		○		○	夏鳥	30	b	VII	絶滅危惧I類	ランク2 絶滅危惧(繁殖体数)		
36	チドリ	チドリ	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>			○	○	夏鳥	40	b			準絶滅危惧	ランク3 準絶滅危惧(繁殖体数)	
37	ハト	ハト	キジバト	<i>SStreptopelia orientalis</i>	○	○	○	○	留鳥	40	b					
38	フクロウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>		○		○	留鳥	50	c				ランク3 準絶滅危惧(繁殖体数)	
									留鳥	夏鳥	旅鳥	a	2種	取巻種		
												b	27種	1	6	10
												c	9種	種	種	種



注) 種名および配列は日本鳥学会発行(2012)「日本鳥類目録 改訂第7版」に従った。
 生息区分は(財)日本野鳥の会大阪支部発行(2002)「大阪府鳥類目録2001」に従った。
 大阪府レッドリストカテゴリーは、大阪府(2011)「大阪府における保護上重要な野生生物 レッドリスト」に従った。

※赤枠は水辺にかかわりがある種を示す。

出典：平成27年度箕面北部丘陵地区動植物調査業務委託(その14)報告書 (大阪府箕面整備事務所、平成28年3月)

写真出典：地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所

⑤両生・爬虫類

表-1.4 両生類確認リスト

目	科	種 (和名・学名)
サンショウウオ	イモリ	アカハライモリ <i>Cynops pyrrhogaster</i>
カエル	アマガ ^カ エル	ニホンアマガ ^カ エル <i>Hyla japonica</i>
	アカガ ^カ エル	タコ ^カ ガ ^カ エル <i>Rana tagoi</i>
		トノサマ ^カ エル <i>Rana nigromaculata</i>
	アオガ ^カ エル	モリアオガ ^カ エル <i>Rhacophorus arboreus</i>
2 目	4 科	5 種

出典：平成27年度箕面北部丘陵地区動植物調査業務委託（その14）報告書（大阪府箕面整備事務所、平成28年3月）

表-1.5 貴重種等の確認数(両生類)

種名	選定基準					確認内容	R-3	R-4	R-5
	a	b	c	d	e				
アカハライモリ			○		○	成体	3	2	1
トノサマ ^カ エル			○		○	成体	8		2
モリアオガ ^カ エル				○		鳴き声	1		
						卵塊	4	1	

注) 選定基準は以下のとおり
a：国指定の天然記念物および特別天然記念物、都道府県・市町村指定の天然記念物
b：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号）による国内希少野生動植物種
c：環境省（2014）「レッドデータブック 2014 3 爬虫類・両生類」の掲載種
d：市街化調整区域における住宅地開発取扱い基準の運用について（昭和60年12月、大阪府制定）による貴重な動物
e：大阪府（2014）「大阪府レッドリスト2014」の掲載種
数字・・・確認個体数または卵塊の数を示す

出典：平成27年度箕面北部丘陵地区動植物調査業務委託（その14）報告書（大阪府箕面整備事務所、平成28年3月）

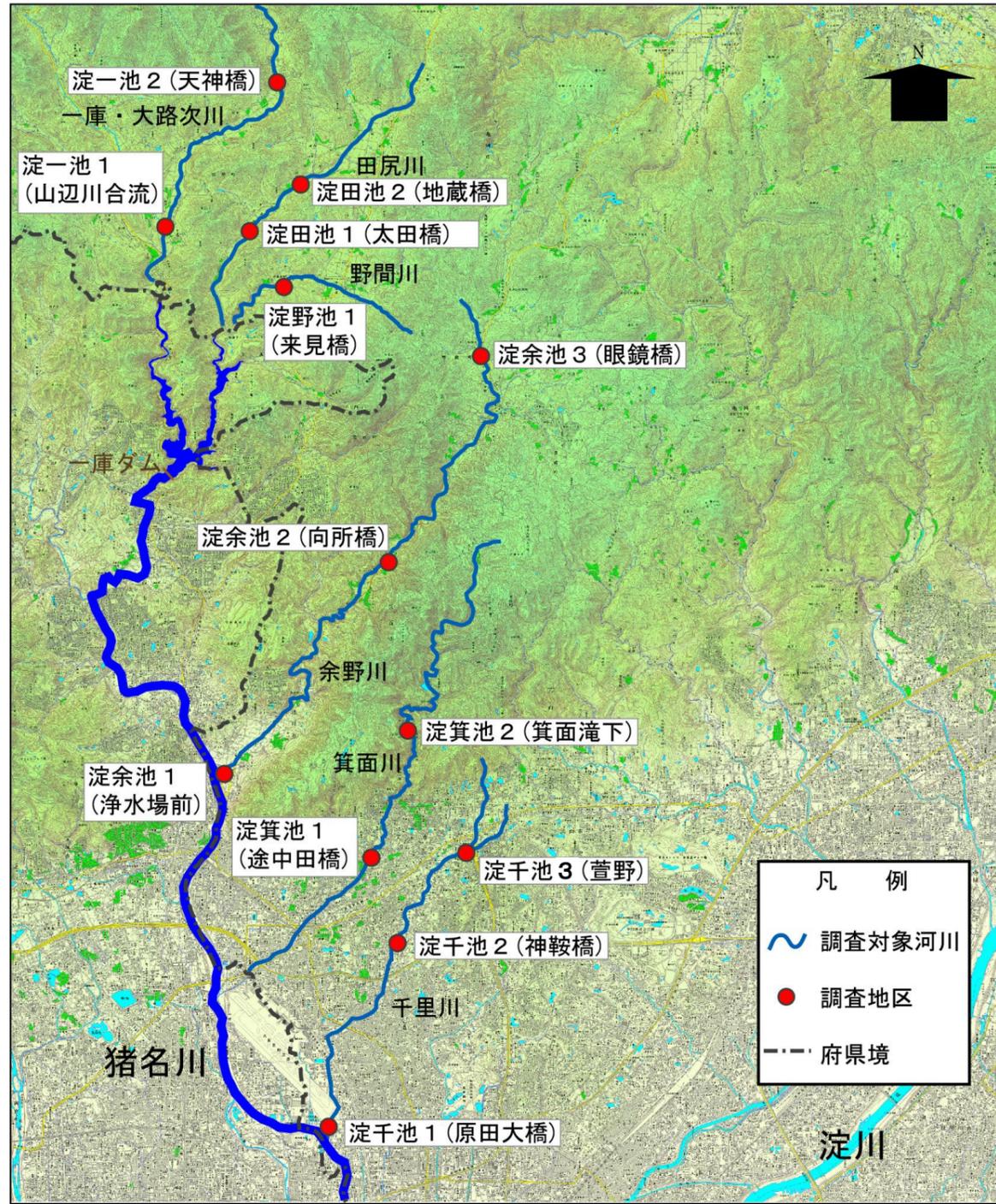


写真出典：地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所

池田市教育委員会への聞き取り調査では、平成27年8月に余野川の中河原橋付近で、オオサンショウウオ（全長91.5cm、重量4,900グラム）が1個体確認されています。

箕面市への聞き取り調査では、箕面川においてオオサンショウウオが確認されています。

⑥魚類



調査地点

出典：一級河川 一庫・大路次川外河川水辺環境調査委託報告書 (大阪府 平成 27 年 2 月)

河川名	確認種数
千里川	29 種
箕面川	7 種
余野川	16 種
猪名川下流ブロック	33 種

出典：一級河川 一庫・大路次川外河川水辺環境調査委託報告書 (大阪府 平成 27 年 2 月)

千
箕
余
 出現河川を意味する。
 貴重種
 絶滅危惧II類：ニホンウナギ、ムギツク、
 ドジョウ、ミナミメダカ
 準絶滅危惧：タモロコ、シマドジョウ
 ギギ、ナマス、アユ、ウキゴリ

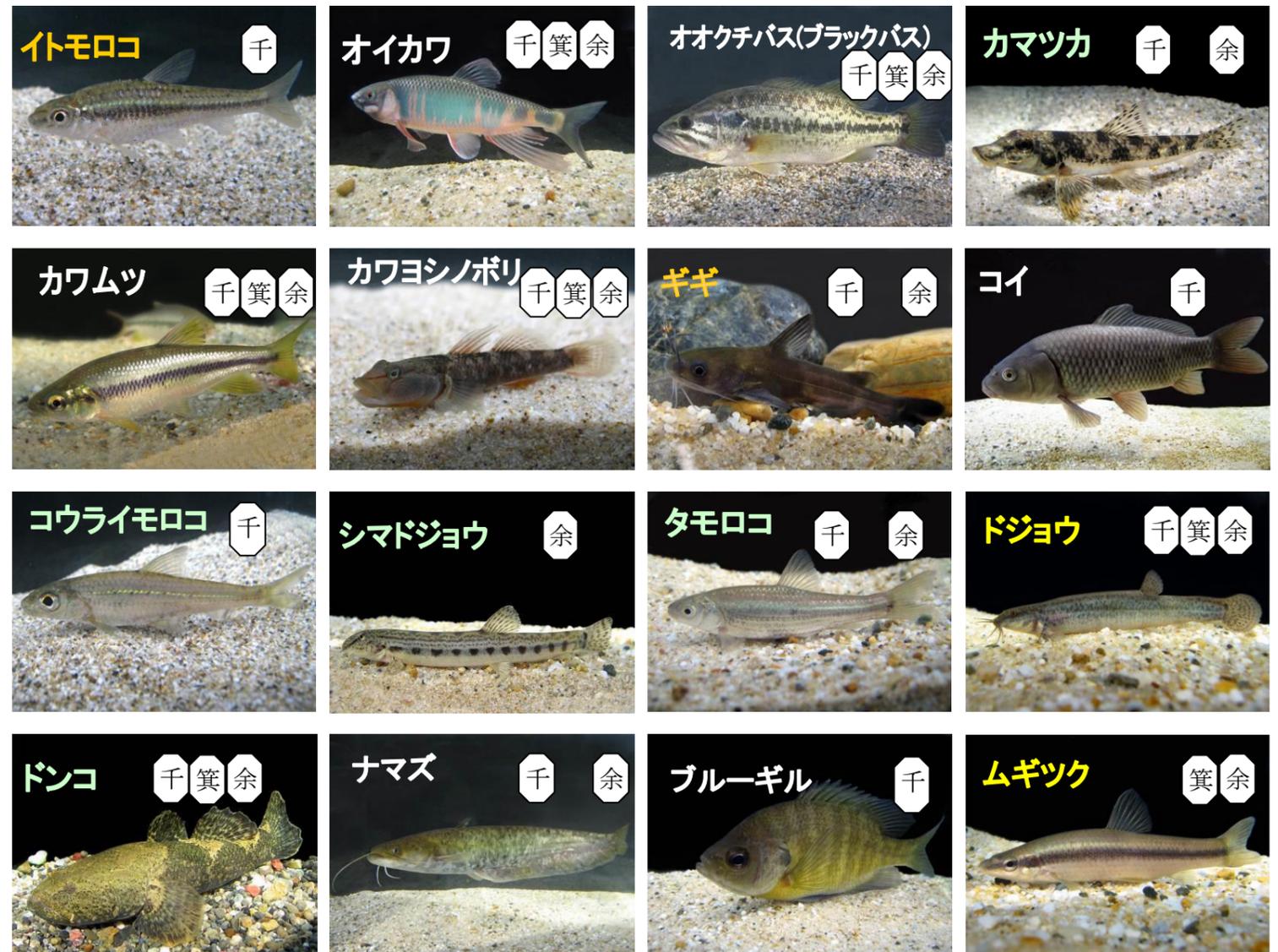
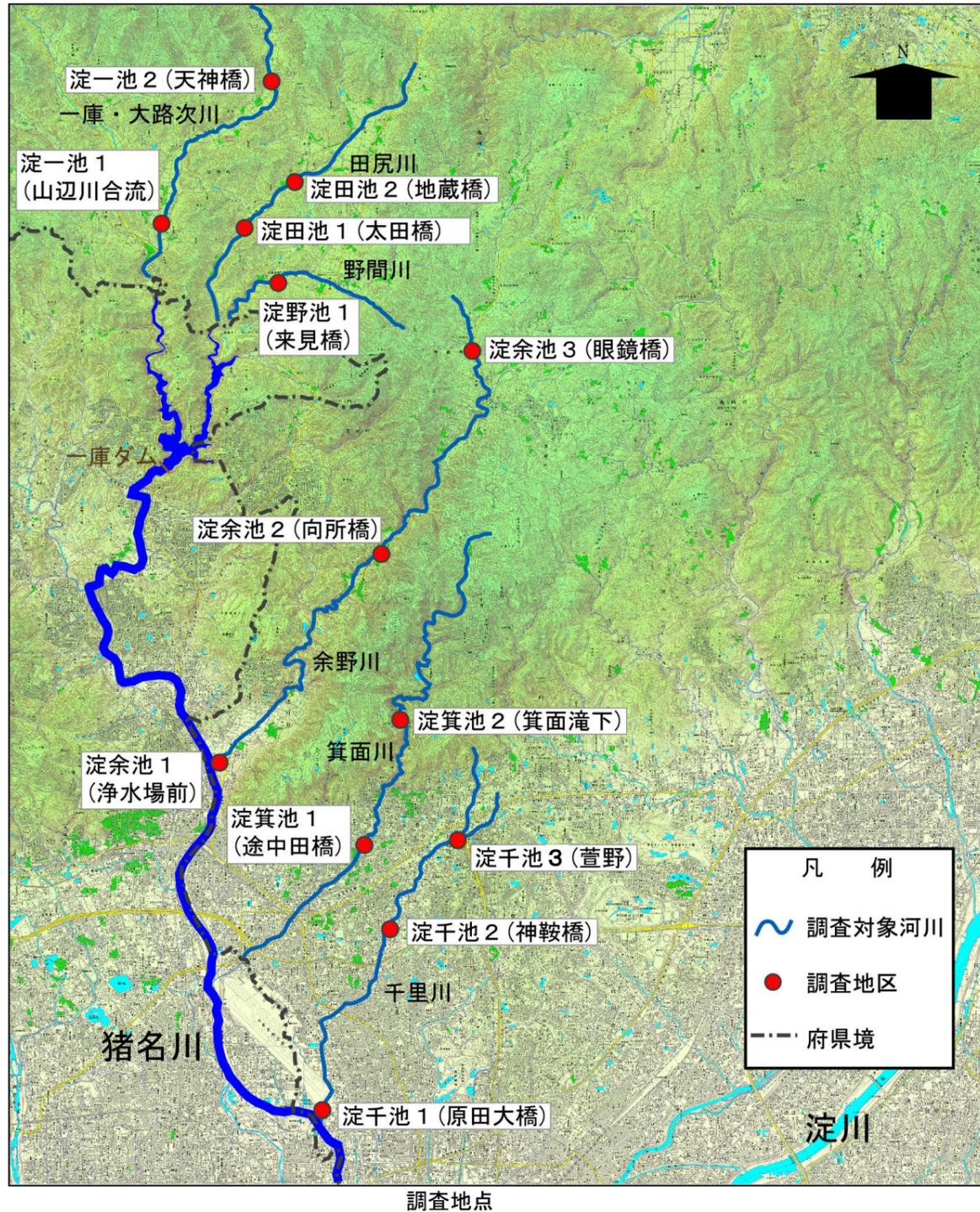


図-1.6 魚類確認種数

写真出典：大阪府水生生物センター

⑦水生生物（底生生物）



出典：一級河川 一庫・大路次川外河川水辺環境調査委託報告書（大阪府 平成 27 年 2 月）

表-1.7 主な底生生物の確認状況

貴重種出現表	千里川			箕面川		余野川		大阪府 レッドリスト H26.10
	1 原田 大橋	2 神 鞍 橋	3 萱 野	4 途 中 田 橋	5 箕 面 滝 下	6 浄 水 上 前	7 向 所 橋	
モノアラガイ				○		○		絶滅危惧Ⅰ種
マシジミ			○					絶滅危惧Ⅱ種
ミズカマキリ								準絶滅危惧
フタスジキソトビケラ							○	準絶滅危惧
シジミガムシ						○		情報不足
出現種数	1			1		5		

出典：一級河川 一庫・大路次川外河川水辺環境調査委託報告書（大阪府 平成 27 年 2 月）



写真出典：環境省国立環境研究所全国水生生物のページ

図-1.7 水生生物（底生生物）確認種数

表-1.8 底生生物確認状況(3/4)

No	綱名	目名	科名	種名	千里川												箕面川												余野川											
					淀千池1				淀千池2				淀千池3				淀箕池1				淀箕池2				淀余池1				淀余池2				淀余池3							
					H13	H16	H23	H26	H13	H16	H23	H26	H13	H16	H23	H26	H16	H23	H26	H16	H23	H26	H7	H13	H16	H23	H26	H7	H13	H16	H23	H26	H7	H13	H16	H23	H26			
141	昆虫	トビケラ(毛翅)	シマトビケラ	ウルマーシマトビケラ				●																																
142	-	-	-	ナカハラシマトビケラ																																				
143	-	-	-	シマトビケラ属																																				
144	-	-	-	オオシマトビケラ																																				
145	-	-	-	エチゴシマトビケラ																																				
146	-	-	-	シマトビケラ科																																				
147	-	-	-	イフトビケラ																																				
148	-	-	-	クダトビケラ																																				
149	-	-	-	ヒゲナガカフトビケラ																																				
150	-	-	-	ヒゲナガカフトビケラ属																																				
151	-	-	-	ヤマトビケラ																																				
152	-	-	-	コヤマトビケラ属																																				
153	-	-	-	イノフスヤマトビケラ																																				
154	-	-	-	ヤマトビケラ属																																				
155	-	-	-	ヤマトビケラ科																																				
156	-	-	-	カワリナガレトビケラ																																				
157	-	-	-	ツメナガナガレトビケラ																																				
158	-	-	-	ヒメトビケラ																																				
159	-	-	-	ヒメトビケラ属																																				
160	-	-	-	ヒロアタマナガレトビケラ																																				
161	-	-	-	クレメンテナガレトビケラ																																				
162	-	-	-	カワムラナガレトビケラ																																				
163	-	-	-	キノナガレトビケラ																																				
164	-	-	-	レゼイナガレトビケラ																																				
165	-	-	-	ムナグロナガレトビケラ																																				
166	-	-	-	トランスクイナガレトビケラ																																				
167	-	-	-	ヤマナカナガレトビケラ																																				
168	-	-	-	ナガレトビケラ属																																				
169	-	-	-	コエグリトビケラ																																				
170	-	-	-	ヒラタクエグリトビケラ																																				
171	-	-	-	コエグリトビケラ属																																				
172	-	-	-	カクスイトビケラ																																				
173	-	-	-	マルツツトビケラ属																																				
174	-	-	-	ニンキョウトビケラ																																				
175	-	-	-	ニンキョウトビケラ属																																				
176	-	-	-	オオカクツツトビケラ																																				
177	-	-	-	カクツツトビケラ																																				
178	-	-	-	カクツツトビケラ属																																				
179	-	-	-	ヒゲナガトビケラ																																				
180	-	-	-	タテヒゲナガトビケラ属																																				
181	-	-	-	アオヒゲナガトビケラ属																																				
182	-	-	-	クサツミトビケラ属																																				
183	-	-	-	セトトビケラ属																																				
184	-	-	-	センカイトビケラ属																																				
185	-	-	-	ヒメセトトビケラ																																				
186	-	-	-	ヒゲナガトビケラ科																																				
187	-	-	-	エグリトビケラ																																				
188	-	-	-	スジトビケラ属																																				
189	-	-	-	ホタルトビケラ																																				
190	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
191	-	-	-	キタガミトビケラ																																				
192	-	-	-	ホソバトビケラ																																				
193	-	-	-	ホソバトビケラ属																																				
194	-	-	-	フタスジキツトビケラ																																				
195	-	-	-	アミメトビケラ																																				
196	-	-	-	ムラサキトビケラ																																				
197	-	-	-	マルバネトビケラ																																				
198	-	-	-	マルバネトビケラ属																																				
199	-	-	-	ケトビケラ																																				
200	-	-	-	Gumaga orientalis																																				
201	-	-	-	グマガトビケラ属																																				
202	-	-	-	Antochabifida																																				
203	-	-	-	ヒメウスバガガンボ																																				
204	-	-	-	ヒメウスバガガンボ属																																				
205	-	-	-	ウスバガガンボ属																																				
206	-	-	-	Dicranota属																																				
207	-	-	-	ヒゲナガガガンボ属																																				
208	-	-	-	Ormosia属																																				

(2) 社会環境特性

1) 人口

猪名川下流ブロック内の各市町の人口（平成 27 年国勢調査）は、豊中市が 395,479 人、池田市 103,069 人、箕面市 133,411 人、豊能町 19,934 人です（図 - 1.8）。

豊中市の人口は、昭和 30 年代から昭和 50 年頃に急増し、その後は横ばいから減少傾向となっていました。平成 22 年から再び増加傾向となっています。池田市の人口は、昭和 30 年代から昭和 50 年頃に急増し、その後は微増傾向と微減傾向を繰り返しています。箕面市の人口は、昭和 30 年代から平成 27 年まで概ね増加傾向が続いています。豊能町の人口は、昭和 30 年代から増加傾向を続けてきましたが、平成 7 年をピークとしてその後は減少傾向となっています。

世帯数（平成 27 年国勢調査）は、豊中市が 170,325 世帯、箕面市 56,829 世帯、池田市 45,777 世帯、豊能町 7,760 世帯となっており、ブロック全体では増加傾向です（図 - 1.9）。

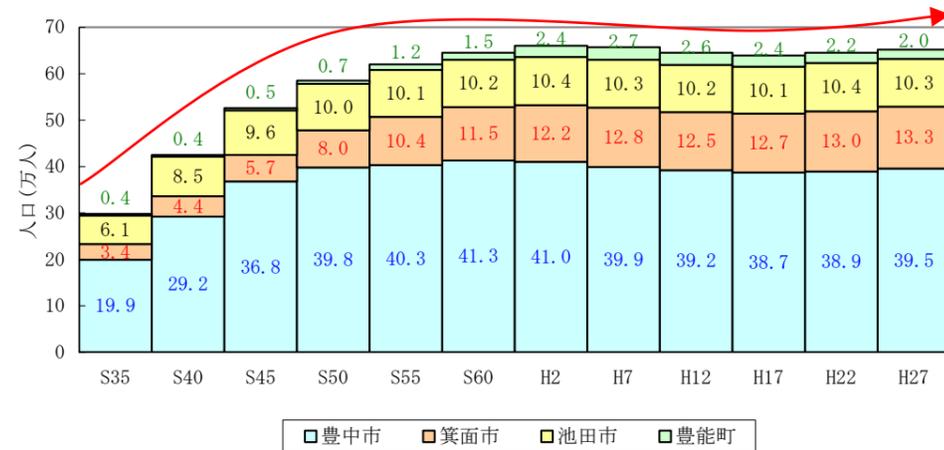


図-1.8 豊中市・箕面市・池田市・豊能町の人口の推移(昭和 35 年～平成 27 年)

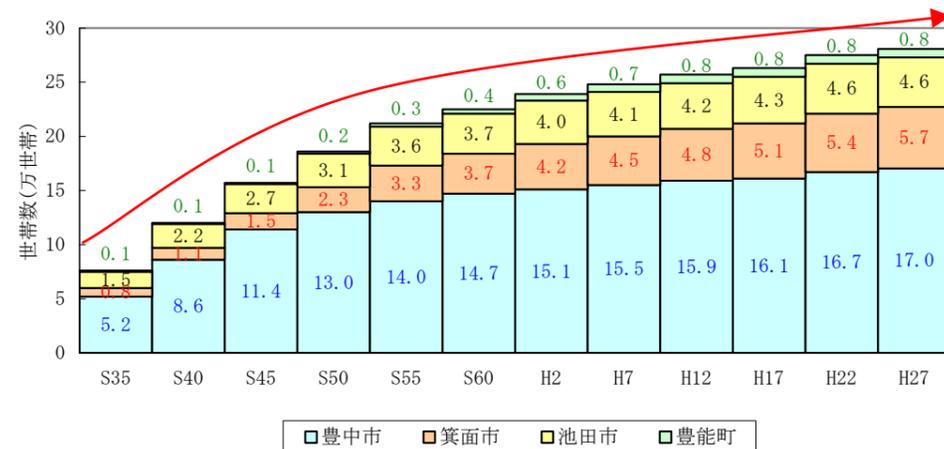


図-1.9 豊中市・箕面市・池田市・豊能町の世帯数の推移(昭和 35 年～平成 27 年)

出典: 国勢調査

2) 産業

猪名川下流ブロック内の産業の特徴としては、北部（主に豊能町、箕面市北部）の農林業を中心にそれらの加工業、中部（主に池田市、箕面市南部）の江戸時代から続く酒造業や植木産業、最近では繊維業や観光業など、南部（池田市、豊中市）の阪神工業地帯に隣接した地域では、その立地を活かした製造業が盛んです。流域内には、大阪国際空港があり、それに伴う航空関連産業なども見られます。

猪名川下流ブロック内市町の就業者人口は、平成 24 年において、卸売り・小売り・飲食店、サービス業等の第 3 次産業が 81.0%、製造業等の第 2 次産業が 18.9%を占めており、農業等の第 1 次産業は 0.1%となっています（図 - 1.10）（図 - 1.11）。

農業については近年、経営耕地面積、農家戸数ともに減少傾向にあります。平成 2 年からの傾向を見ますと、経営耕地面積は豊中市と箕面市で大きく減少しています。特に豊中市は全域が市街化区域で、農地としての土地利用の担保力が弱く、経営耕地面積および農家戸数が 5 割以下に減少しています。山間の豊能町でも、経営耕地面積および農家戸数が約 2 割減少しています（図 - 1.12）。

流域では、植木や日本酒などの特産品があります。

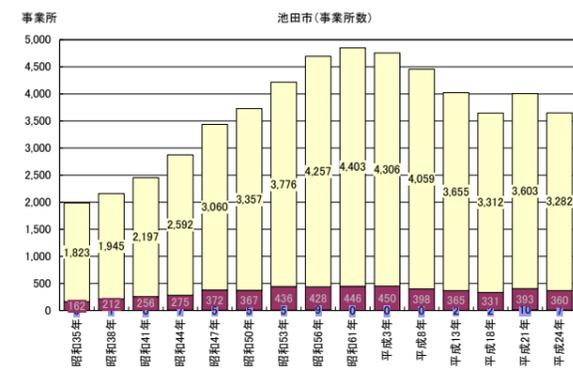
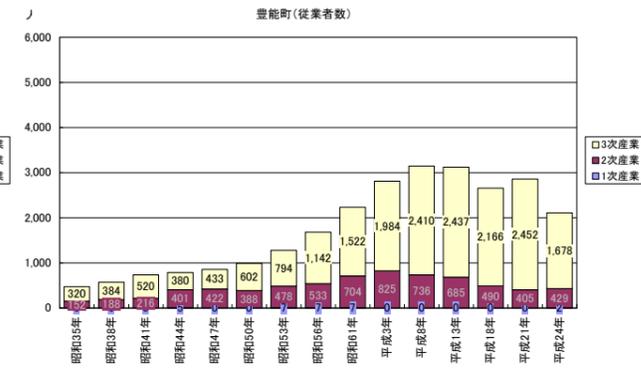
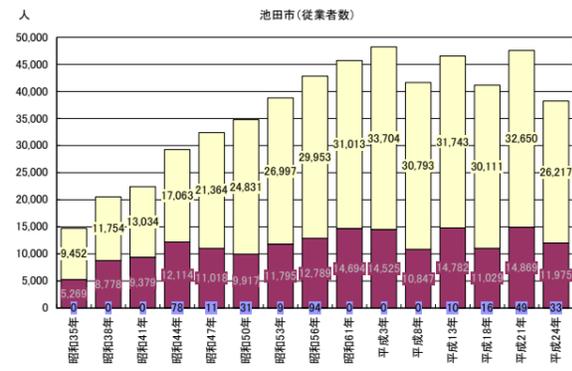
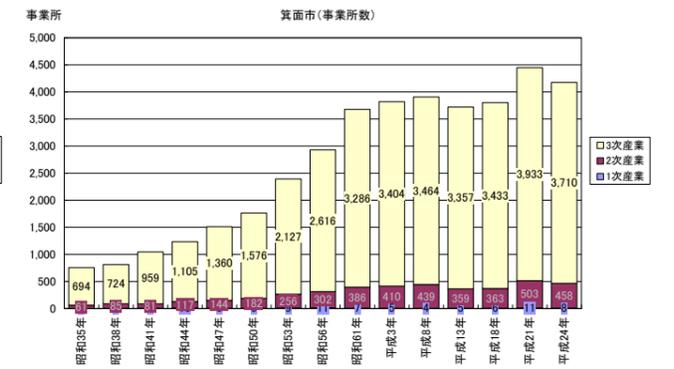
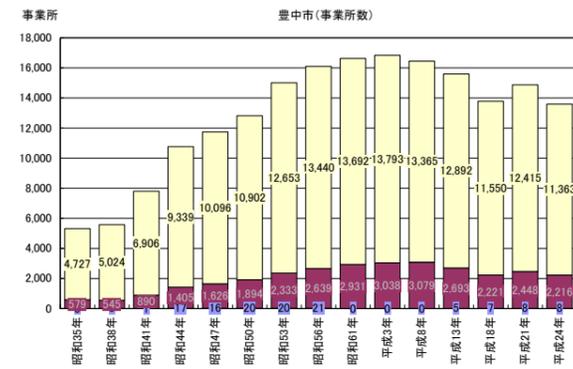
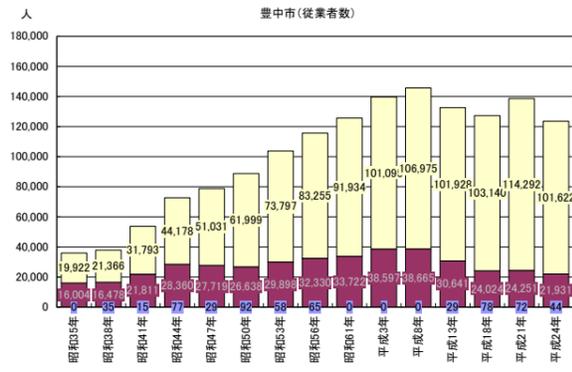


図-1.10 産業別従業員数の推移

出典:大阪府統計年鑑

図-1.11 産業別事業所数の推移

出典:大阪府統計年鑑

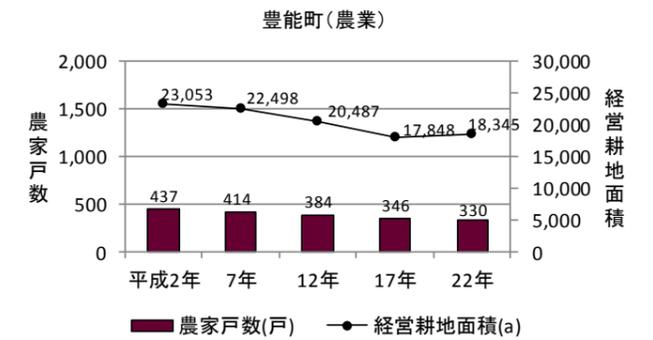
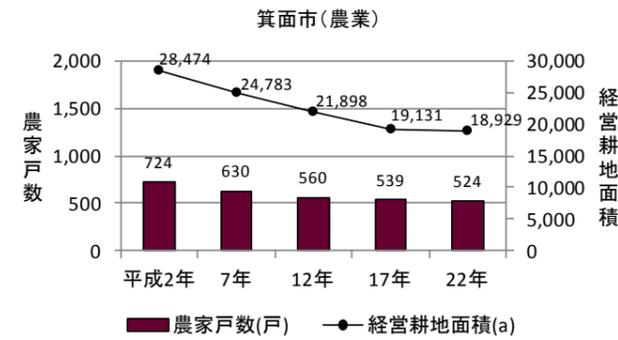
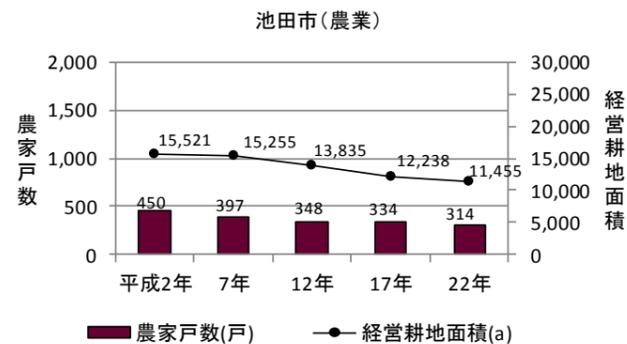
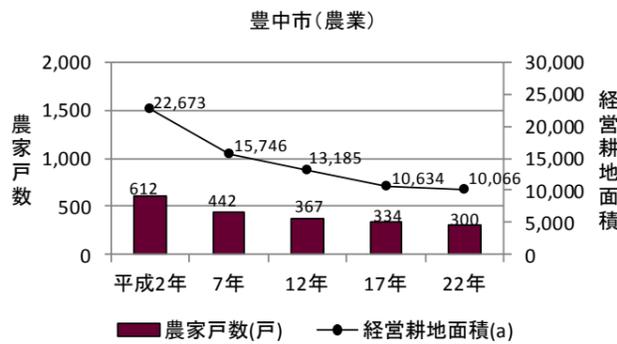


図-1.12 農業戸数、経営耕地面積の推移

出典:大阪府統計年鑑

3) 土地利用

猪名川下流ブロックは山地が5割を占め、人口の増加とともに低地、丘陵地さらに山麓周縁まで市街化され、市街地が4割、田畑が1割の構成となっています。

余野川中上流部や初谷川が流れる北部の丘陵地では、昭和50年代以降の人口の増加が安定期に入って以降は住宅地の開発が進み、余野川流域では池田市伏尾台、豊能町希望ヶ丘、初谷川流域では豊能町のときわ台、光風台などの大規模に開発された住宅地が見られます。また、平成19年10月に、余野川流域の箕面市上止々呂美、下止々呂美地区に開発面積313.5ha、計画居住人口約9,600人（計画戸数約2,900戸）の「箕面森町」が街開きしました。千里川や箕面川下流部が流れる南部の丘陵地・低平地では昭和40年代までに急激に市街化されました。昭和49年頃には平成18年現在とほぼ変わらない状況になっています（図-1.13）（図-1.14）（図-1.15）。

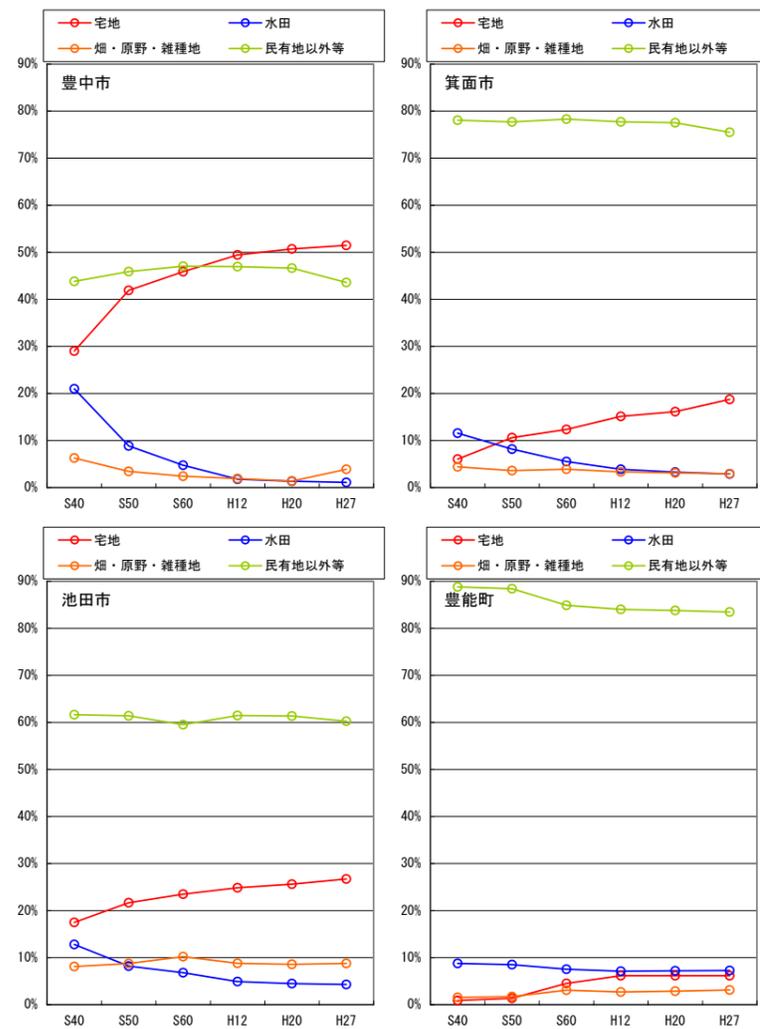


図-1.13 土地利用割合の経年変化

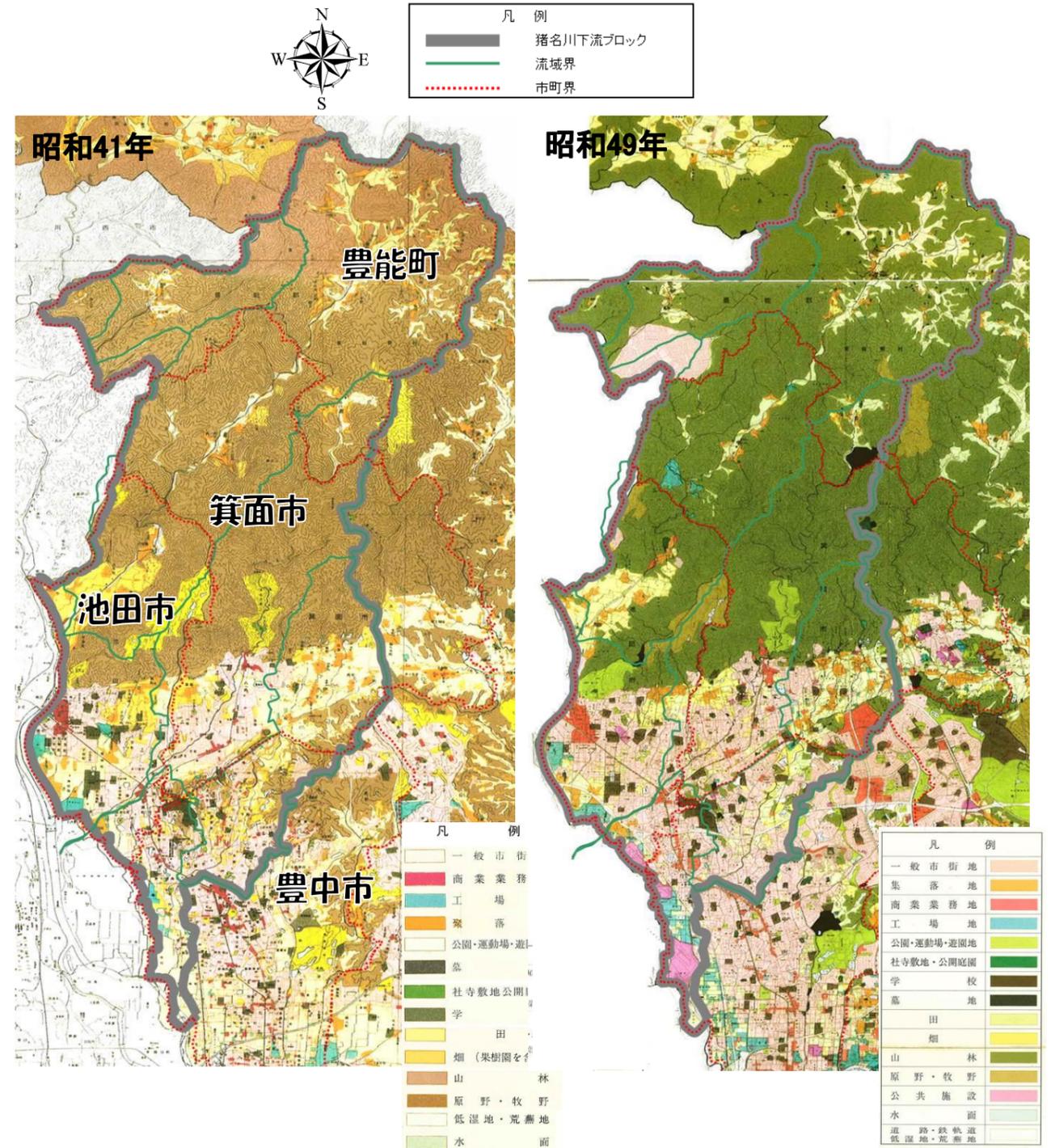


図-1.14 土地利用状況図

出典:大阪府土地利用現況図(昭和41年、昭和49年)



凡	例
■	猪名川下流ブロック
—	流域界
⋯	市町界

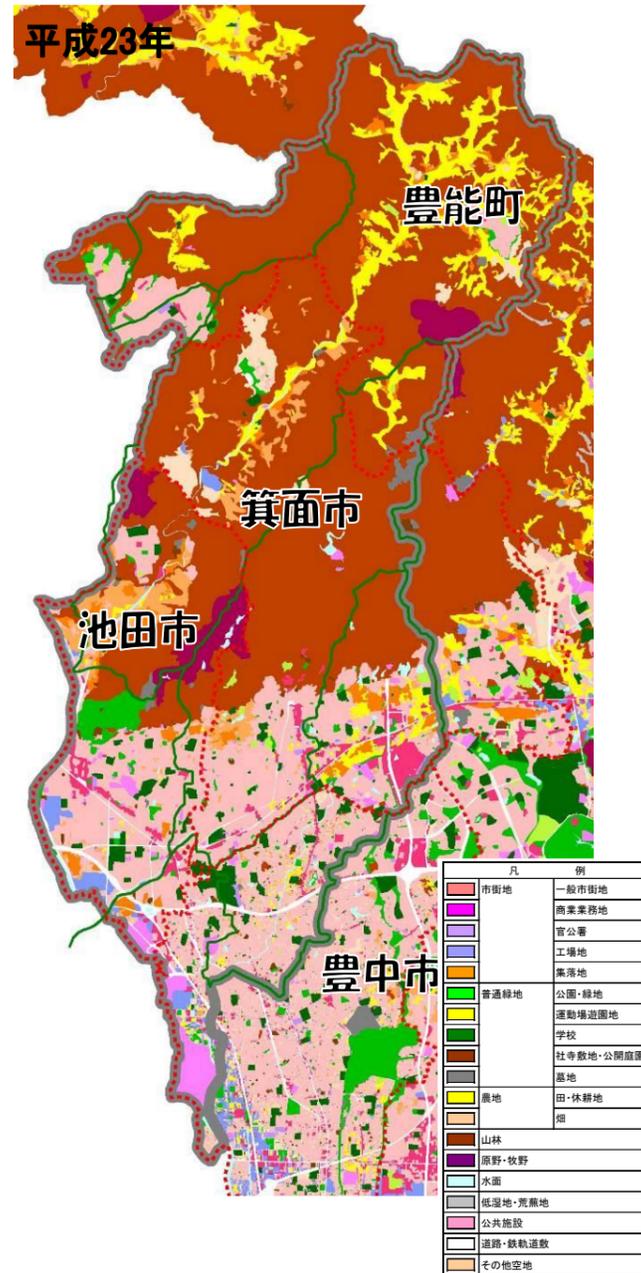
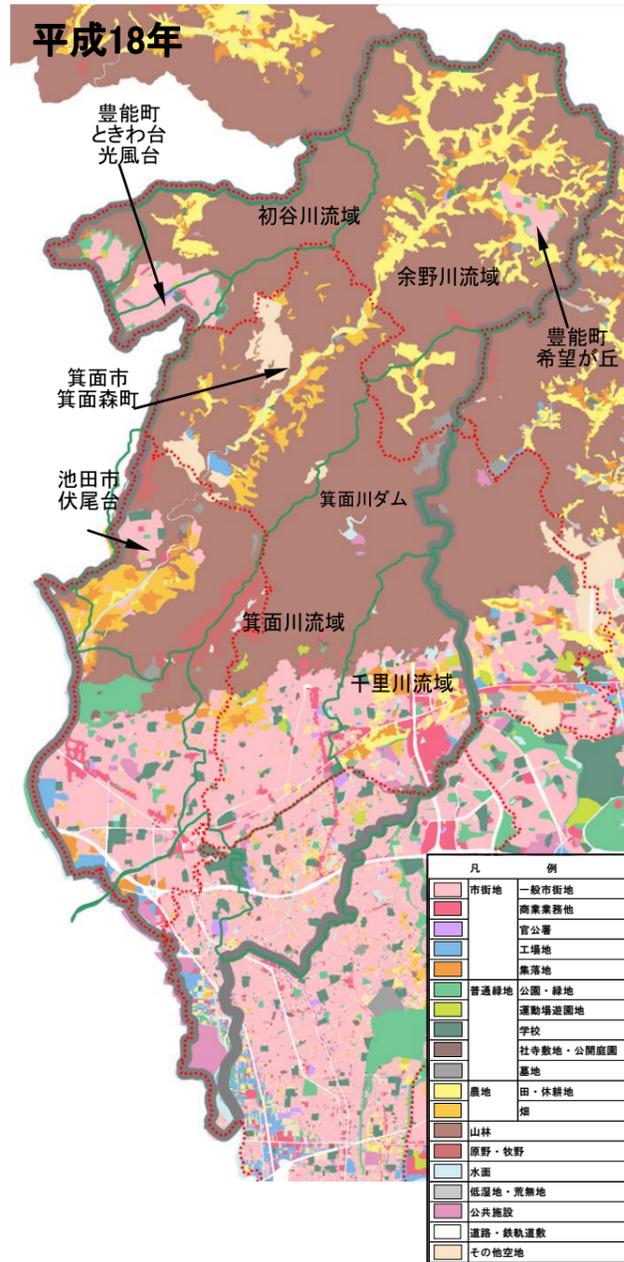


図-1.15 土地利用状況図

出典:大阪府土地利用現況図(平成18年、平成23年)

4) 歴史・文化・観光

猪名川下流ブロックには古くは京都から西宮を結ぶ西国街道が走り、かつては西国大名の参勤交代の道として本街道の大阪経由よりもよく利用されました。山間部には寺社が建立され、信仰の場として修験者が行き交いました。現在、国指定重要文化財の「金禅寺三重宝篋印塔」、「如意輪観音坐像（瀧安寺）」、「久安寺の楼門」、「木造阿弥陀如来坐像（久安寺）」をはじめ、多くの歴史文化施設等が残されています。無形文化財として池田市五月山の「愛宕火（市指定）」や箕面市白島の「白島の太鼓念仏（府指定）」があります（表-1.9）（図-1.16）。また、ブロック内では箕面滝、箕面溪谷、初谷溪谷などの自然観光資源やインスタントラーメン発明記念館などの観光施設が多くあります。

○歴史・文化施設

	指定関係	施設名	位置図番号
豊中市	国指定	金禅寺三重宝篋印塔	1
	府指定	金禅寺木造十一面観音立像	1
		金寺廃寺塔刹柱礎石（看景寺）	2
		麻田藩主邸表玄関（報恩寺）	3
	市指定	麻田藩陣屋門	4
		木造漆箔薬師如来坐像（春日神社）	5
		木造漆箔阿弥陀如来坐像（円満寺）	6
		桜井谷2-19号窯跡	7
		桜井谷2-24号窯跡	8
蘇鉄（安楽寺）		9	
箕面市	国指定	如意輪観音坐像（瀧安寺）	10
	府指定	瀧安寺富籤箱一式（瀧安寺）	10
		萱野三平旧邸長屋門	11
		石造宝篋印塔（下止々呂美薬師堂）	12
	市指定	瀧安寺文書（瀧安寺）	10
		一石六地藏及び逆修衆石仏	13
		（の）字状垂飾（郷土資料館）	14
如意谷銅鐸出土壙（郷土資料館）		14	
木造阿弥陀如来坐像（久安寺）		15	
池田市	国指定	木造阿弥陀如来坐像（久安寺）	15
		久安寺楼門（久安寺）	15
	府指定	宝篋印塔（無二寺）	16
		綿本蕃色涅槃図（久安寺）	15
	市指定	久安寺縁起（久安寺）	15
		木造増長天立像（久安寺）	15
		木造薬師如来立像（久安寺）	15
		木造十一面観音立像（永興寺）	17
		伝唐船が淵	18
		麻田藩主青木家累代の墓（仏日寺）	19
		木造阿弥陀如来坐像（市立養護老人ホーム）	20
伝弁慶の泉		21	
豊能町	府指定	旧走湯天王社の石槽（法性寺）	22

備考：個人等の所有文化財を除く。



出典：インスタントラーメン発明記念館 HP



出典：能勢電鉄 HP

出典：箕面公園 HP

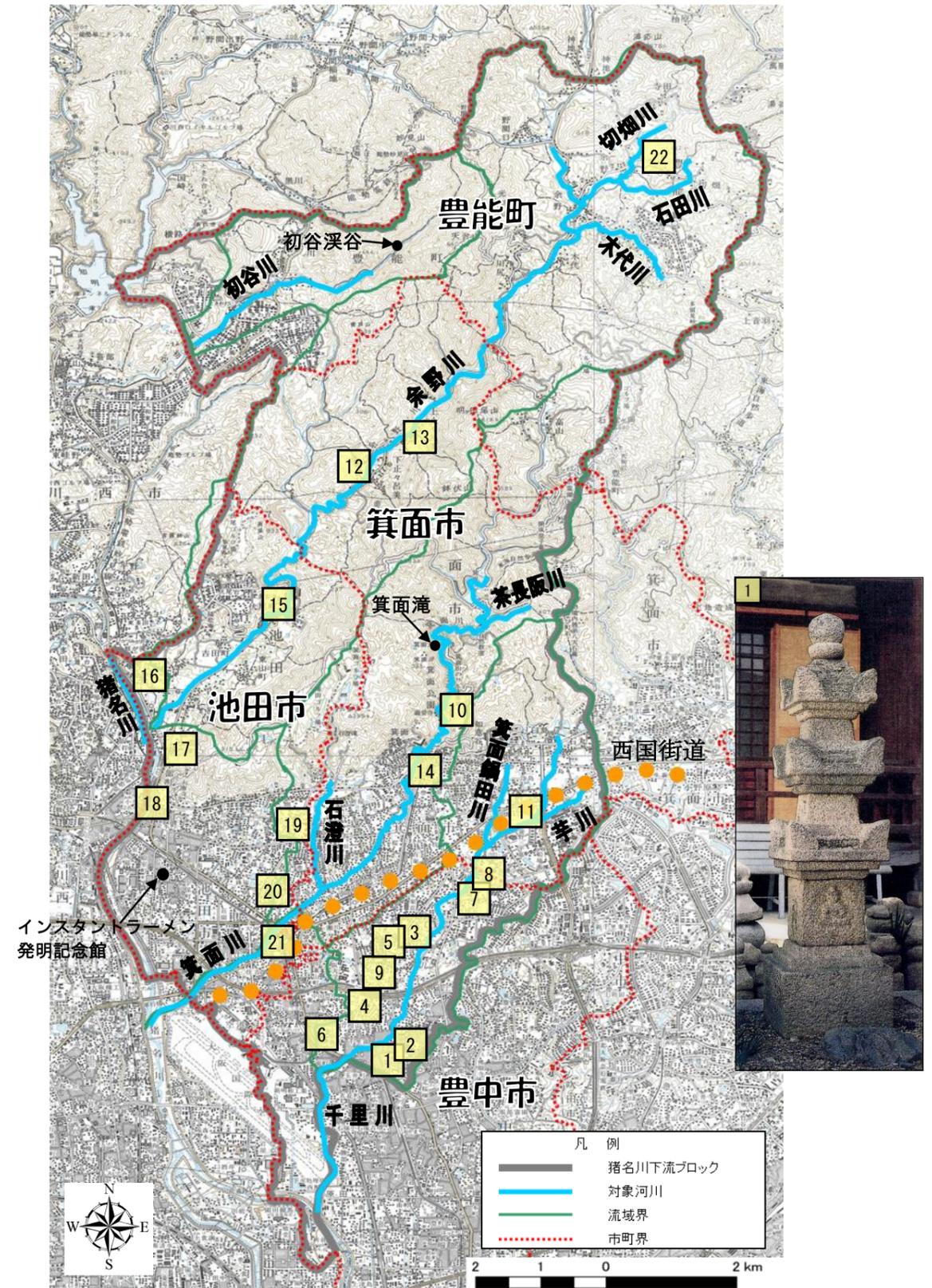


図-1.16 文化財、観光施設位置図

表-1.9 歴史、文化施設

【豊中市】 出典：豊中の文化財（豊中市教育委員会）

1. 金禅寺三重宝篋印塔（国指定重要文化財）

金禅寺の本堂右前には、在銘の三重宝篋印塔があります。塔は各部分とも花崗岩を用材とし、現在失われている相輪の部分を加えて6個の部材からできています。

基礎部の刻銘より、南北朝時代に、何人、何十人かの人達が結集し、浄財を出しあって建立したものであることがわかります。



金禅寺木造十一面観音立像（府指定文化財）

金禅寺には、前身寺院時代の十一面観音立像があり、本堂中央の厨子の内部に秘仏として安置されています。

桧材の寄木造りで、彩色はほとんどなく、素地のままです。鎌倉時代末の年号の墨書があり、豊中市内における数少ない在銘仏像の中に連ねることができます。



2. 金寺廃寺塔刹柱礎石（府指定文化財）

江戸時代に、飛鳥時代後期の創建と考えられる金寺山廃寺跡から看景寺に移置されたもので、金寺山廃寺の塔の心礎とされます。

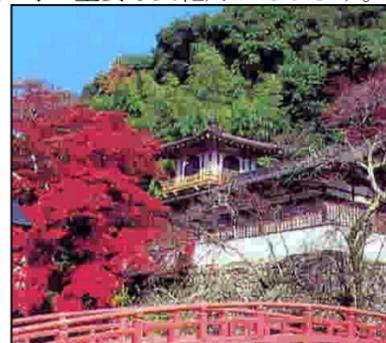
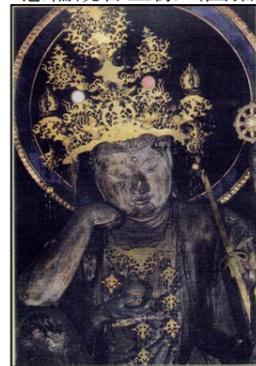


【箕面市】 出典：ふるさと箕面の文化財（箕面市）

10. 瀧安寺

白雉元年（650年）役小角が箕面寺を建立したのが始まりといわれ、現在もなお、山岳信仰修験道の根本道場として、全国各地から修験者が集まり、大護摩法要が毎年4・7・11月に行われています。

如意輪観音坐像（国指定重要文化財）、富籤箱一式（府指定文化財）等の重要な文化財があります。



11. 萱野三平旧邸長屋門（府指定文化財）

江戸元禄時代、俳人としても著名な萱野三平は、赤穂浪士の一員として名を連ねていましたが、父親が強く反対し、三平は忠と孝の板ばさみとなり、自宅長屋門で自刃しました。旧邸内の北西隅には、辞世の一句を刻んだ句碑があります。

「晴れゆくや 日ごろ心の 花曇り」 涓泉
管理棟「涓泉亭」には、多くの資料が展示されています。



【池田市】 出典：池田の文化財（池田教育委員会）

15. 久安寺の楼門（国指定重要文化財）

久安寺は由緒ある古寺で、楼門は国の重要文化財です。間口3間、奥行2間の楼門は、ひろびろとした感じの全面解放の仏像形式を採用した特異な構造で有名です。



久安寺の楼門

木造阿弥陀如来坐像（国指定重要文化財）

桜の一木造で藤原時代末の作と推定されます。阿弥陀堂の本堂の本尊として安置されていたと考えられています。



木造阿弥陀如来坐

16. 石造宝篋印塔〔無二寺〕（府指定文化財）

隅飾突起の蓮華座の上に、蔵手文を施した、他に例が少ない塔であり、基礎には、僧俗あわせて13人の名前が彫られています。南北朝時代の貴重な石造美術品です。



【豊能町】 出典：豊能町 HP

22. 旧走湯天王社の石槽〔法性寺〕（府指定文化財）

石材は花崗岩、長辺 2m、短辺 1.3m、内法は各 1.5、0.8m、深さ 0.5m。製作は鎌倉時代と推定されています。



【行事・イベント】

猪名川下流ブロックでは、各市町の特徴により、様々な行事・イベントが行われています。
 箕面市・池田市では、箕面滝の紅葉や五月山の桜などの地域の名所を生かした行事・イベントが行われ、豊能町では、自然の恵みを生かした真菜まつりなどが行われています（表 - 1.10）。

表-1.10 行事・イベント一覧

1月	写真	8月	写真
・どんど焼き（豊能町）		・市民カーニバル石橋まつり（池田市）	
・恵比須祭り（池田市）		・鮎まつり（池田市）	
・瀧安寺富くじ（箕面市）		・箕面大滝ライトアップ（箕面市）	7
・尊鉢厄神大祭（池田市）		・マンドロ（万灯籠）（箕面市）	
・勝尾寺初はらい荒神大祭（箕面市）		・がんがら火祭り（池田市）	8
・かるた（小倉百人一首）競技会（池田市）		・ジャズ・ピクニック・イン・猪名川（池田市）	
		・猪名川花火大会（池田市）	9
		・豊中まつり（豊中市）※	
2月			
・みのお公園温泉まつり（箕面市）			
・帝釈寺星まつり（箕面市）	1	9月	
		・コスモス（豊能町）	10
		・栗拾い（豊能町）	
3月		・東光院萩まつり道了祭（豊中市）※	
・真菜まつり（豊能町）	2		
4月		10月	
・町内観光ツアー（豊能町）		・秋祭り（池田市）	
・池田五月山さくらまつり（池田市）	3	・春日神社まつり（箕面市）	
・ぼたん祭り（池田市）		・天狗まつり（箕面市）	11
・瀧安寺行者堂戸閉法要（箕面市）		・秋祭り（豊能町）	
・五月山春のフェスティバル（池田市）		・神田祭り（池田市）	
・市民レンゲまつり（豊中市）※		・豊悠まつり（豊能町）	
		・商業祭（池田市）	
5月			
・弁慶祭り（池田市）		11月	
・新緑カーニバル（箕面市）		・町民祭・農業祭（豊能町）	
・さつき展（池田市）	4	・IKEDA文化DAY（池田市）	
		・もみじまつり（箕面市）	
6月		・もみじまつり（池田市）	
・花菖蒲まつり（池田市）	5	・いけだ・いらっしやいフェスティバル（池田市）	
・余野川アユ釣り解禁（箕面市・豊能町）		・いけだラーメンフェスタ（池田市）	
		・観光フォトコンテスト（豊能町）	
7月		・菊花展（池田市）	
・瀧安寺開山忌大護摩法要（箕面市）	6	・瀧安寺行者堂戸閉法要（箕面市）	
・箕面まつり・サマーフェスタ（箕面市）		・農業祭（池田・箕面・豊中各市）	
・細河まつり（池田市）			
		12月	
出典：豊能地区広域観光推進協議会 「風物詩カレンダー」から3市1町抜粋		・年末餅つき大会（豊能町）	
※：猪名川下流ブロック域外が開催中心地		・みのお市民ツリー（箕面市）	12

1. 帝釈寺星まつり(箕面市)



2. 真菜まつり(豊能町)



3. 池田五月山さくらまつり(池田市)



4. さつき展(池田市)



5. 花菖蒲まつり(池田市)



6. 瀧安寺開山忌大護摩法要(箕面市)



7. 箕面大滝ライトアップ(箕面市)



8. がんがら火祭り(池田市)



9. 猪名川花火大会(池田市)



10. コスモス(豊能町)



11. 天狗まつり(箕面市)



12. みのお市民ツリー(箕面市)



5) 交通

猪名川下流ブロック内には、古くから西国街道が通り、箕面市の瀬川（箕面川と石澄川の合流点近く）には宿場（瀬川宿）が置かれ、現在の石橋駅付近は大阪市内方面から来る能勢街道との結節点でありました。能勢街道は、池田市木部町付近で摂丹街道（概ね現在の国道 423 号）を分け、それぞれ丹波方面に向かう街道でした。

この付近は、現在でも阪急電鉄宝塚線、阪急電鉄箕面線、大阪モノレール、中国自動車道や阪神高速道路、国道 171 号、国道 176 号、主要地方道大阪中央環状線などの結節点となっています（池田市、豊中市、箕面市の境界付近）。現在、北大阪急行線の千里中央駅から北へ 2.5 km 延伸し、新駅を 2 つ作る「北大阪急行線延伸事業」が進められています。

北部は山地部となっているため、猪名川や余野川、初谷川沿いに国道 173 号、423 号、477 号、能勢電鉄妙見線が通ります。南部は、市街地、住宅地であるため、阪急電鉄宝塚線、阪急電鉄箕面線などが整備されています。

現在は、ブロック北部を横過する新名神高速道路の建設が進められており、箕面市市街から止々呂美付近へ平成 19 年に開通した箕面有料道路（箕面グリーンロード）との接続地点に箕面 IC（仮称）が設置される予定です。

また、平成 6 年 9 月には関西国際空港、平成 18 年 2 月には神戸空港が開港しましたが、都心に近いブロック南部に位置する大阪国際空港は多くの旅客に利用されています（図 - 1.17）（図 - 1.18）。



出典：西日本高速道路株式会社 HP

図-1.17 新名神高速道路の概要図（大阪府域）

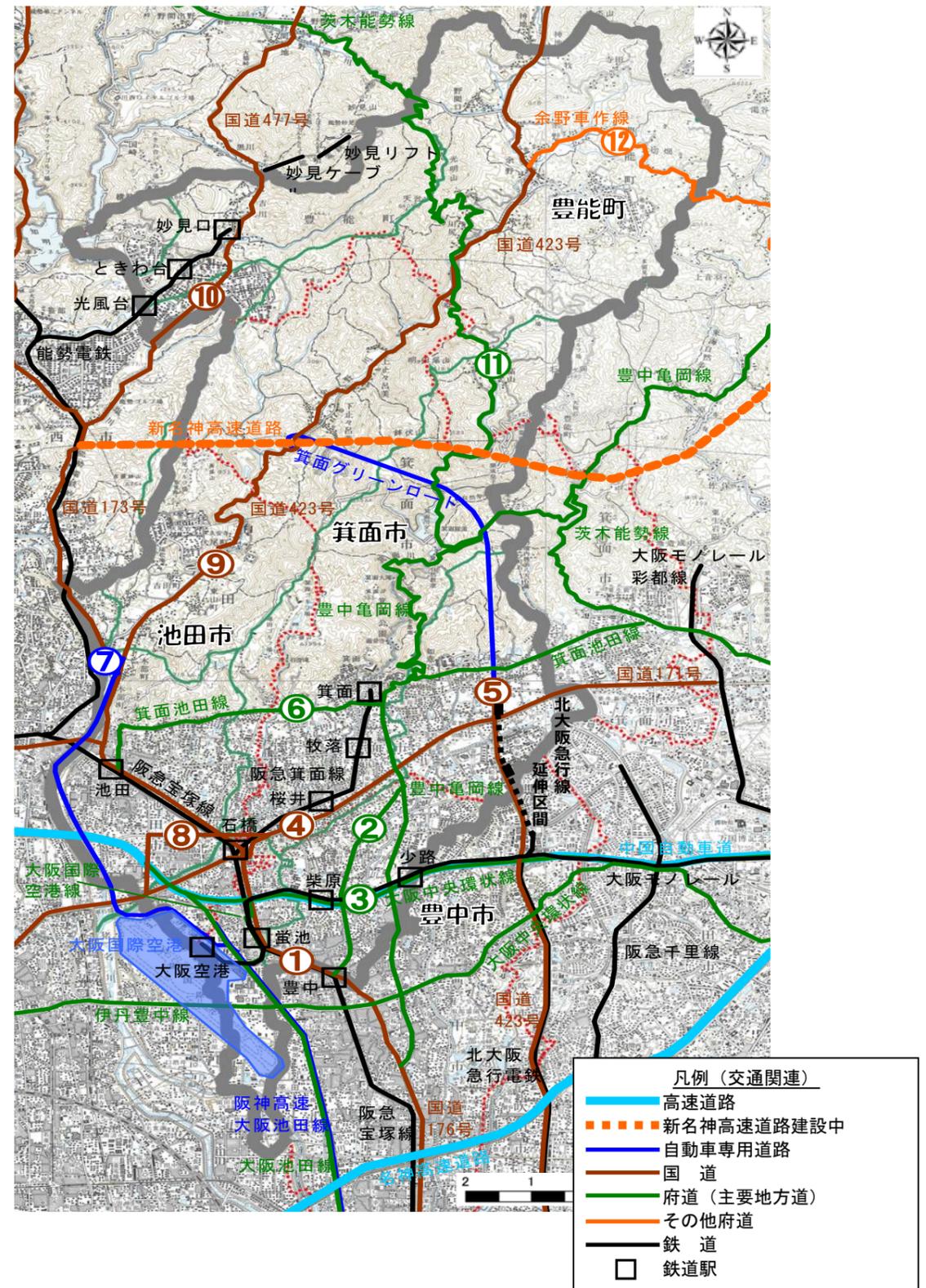


図-1.18 猪名川下流ブロック内の主要交通網図

3. 河川の特性

(1) 猪名川

猪名川は、上流の兵庫県境から余野川が合流するまでが大阪府の指定区間となっており、国土交通省の管理区間につながります。対岸の兵庫県側（右岸）は住宅地として開発されていますが、大阪府側（左岸）は田園地帯となっています。河床勾配は平均で約 1/780 です。右岸は兵庫県管理区間です(図 - 1.19)。

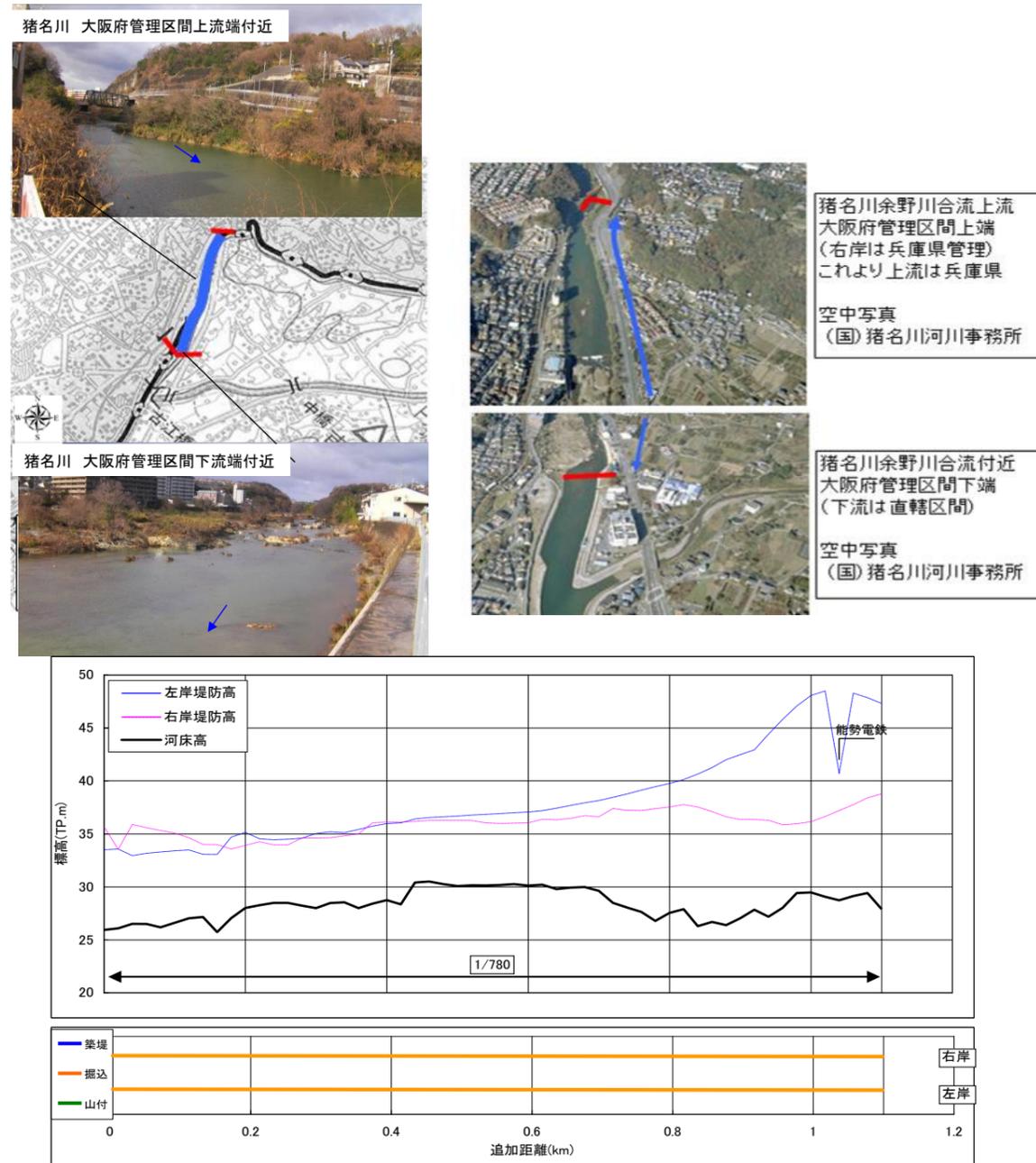


図-1.19 河川状況図と縦断図(猪名川)

(2) 余野川

余野川は豊能町の山地に源を発し、国道 423 号沿いに南西に流下して猪名川に合流する河川です。下流部（猪名川合流点～新吉田橋）は河床勾配が約 1/90～1/160、川幅は約 30m となっており、周辺は住宅が点在する田園風景が広がっています。河道はコンクリートブロック護岸や落差工が整備され、河床は砂礫となっており、河畔林や河道内の洲にはヨシやミゾソバ等の草本類が繁茂しています。また、山間部からの土砂供給があることから猪名川合流付近では、堆積傾向にあります。

中流部（新吉田橋～金石橋）は山間部を流れ、河床勾配が約 1/30～1/90、川幅は 15m 前後となり、下流部に近い一部区間はコンクリートブロック護岸が整備されているものの、ほとんどが天然河岸であり、河床は岩が露頭する溪流景観となっています。

上流部（金石橋より上流）では、河床勾配が約 1/55～1/85、川幅は 10m 前後となり、田園地帯を流下する里地景観となっています。河道は、コンクリートブロック護岸や落差工が整備され河床は砂礫となっております(図 - 1.20) (図 - 1.21(1)) (図 - 1.21(2)) (図 - 1.21(3))。



図-1.20 河川状況図(余野川)

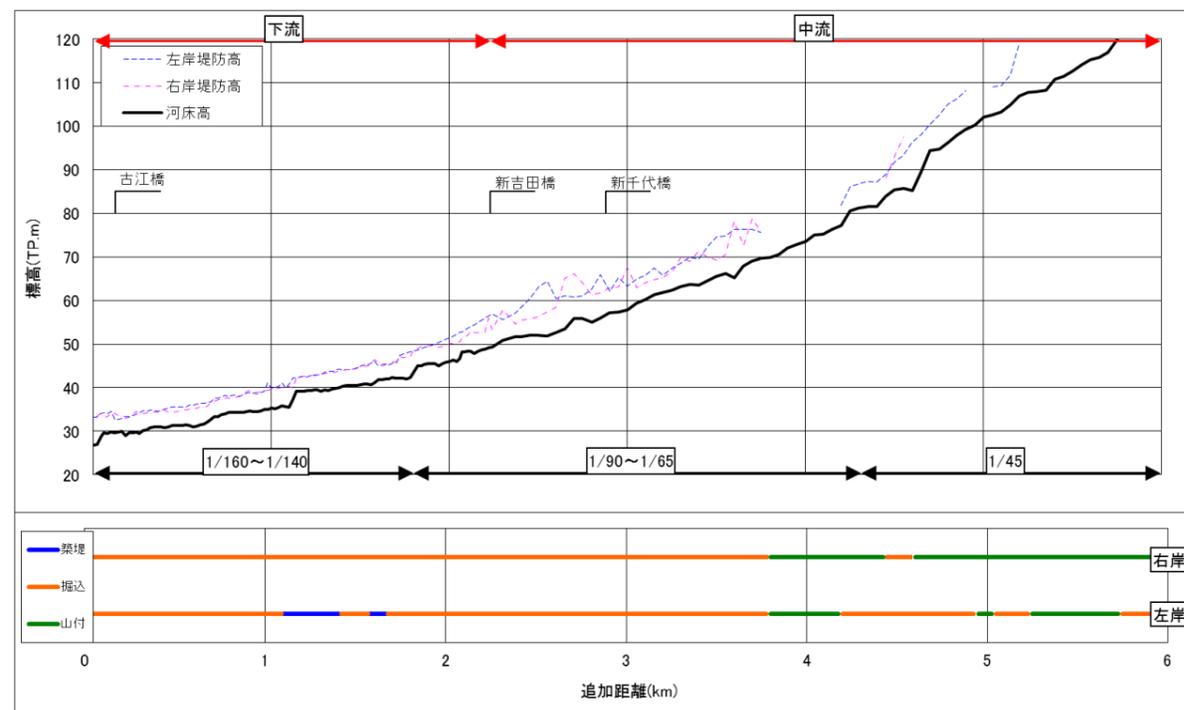


図-1.21(1) 縦断面図(余野川 下流、中流)

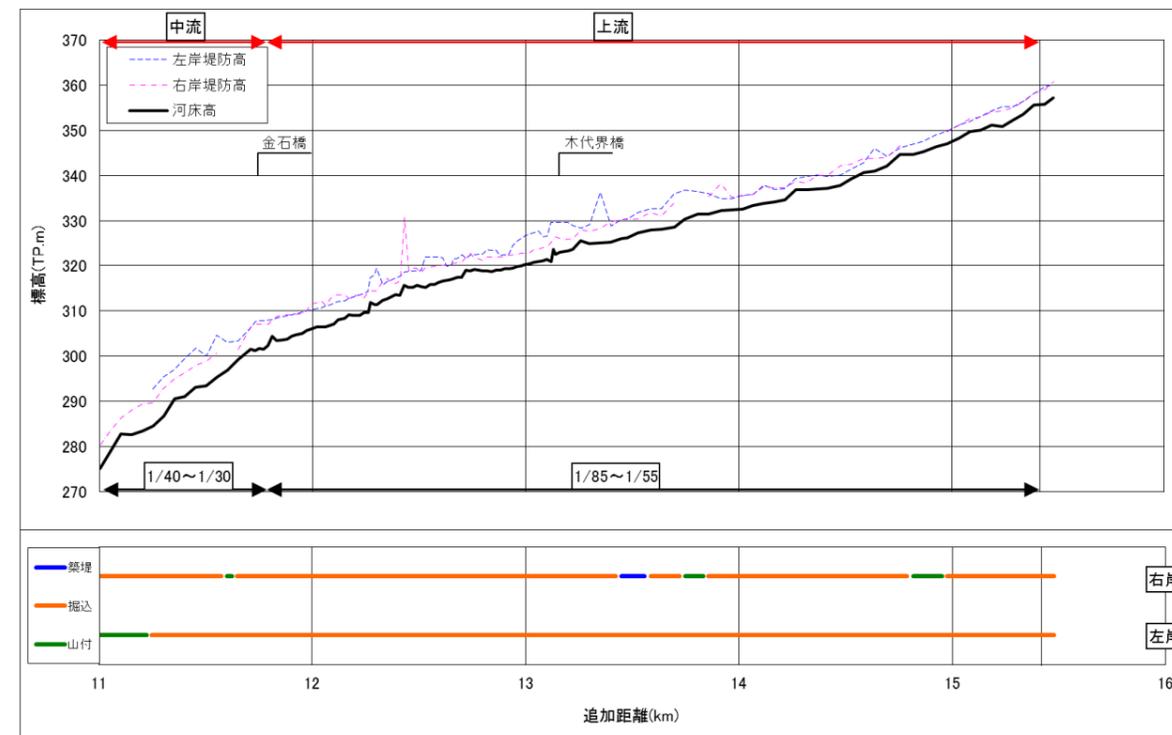


図-1.21(3) 縦断面図(余野川 上流)

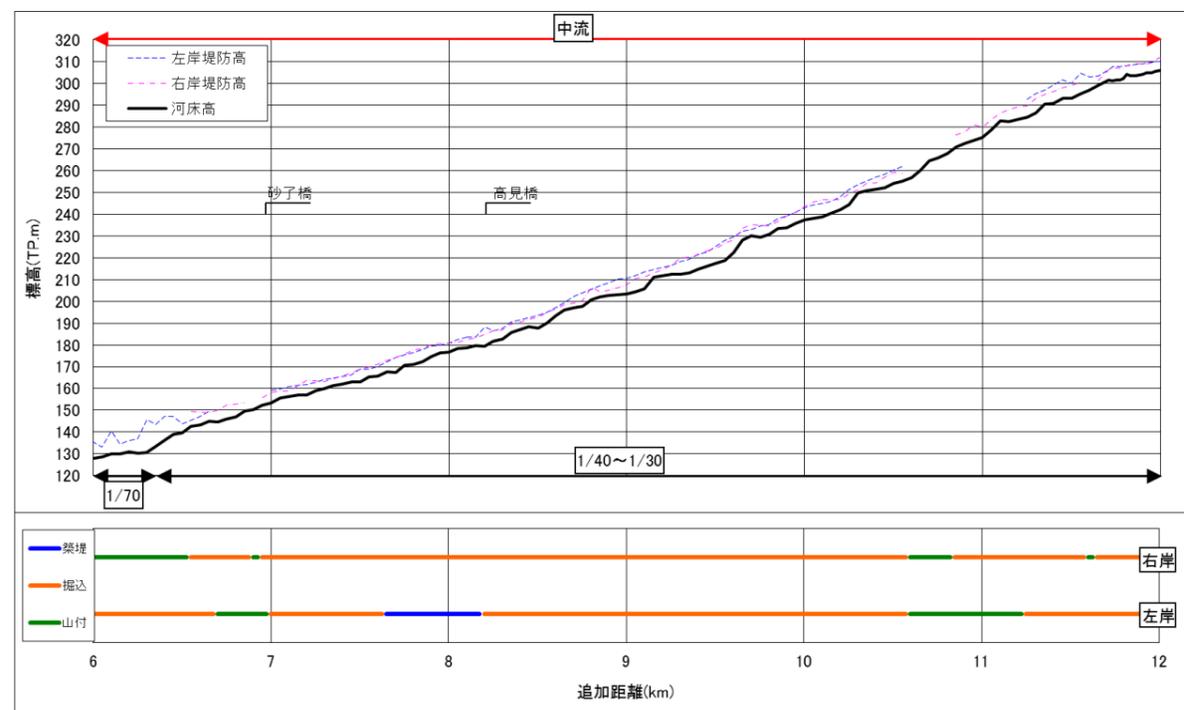


図-1.21(2) 縦断面図(余野川 中流)

(3) 木代川、切畑川、石田川 (余野川支川)

木代川は余野川の左支川で、豊能町内を流れる河川です。河床勾配は約 1/30~1/50、川幅 10m 程度となっており、周辺には田園風景が広がる河川です (図 - 1.22) (図 - 1.23)。

切畑川は余野川の左支川で、豊能町内を流れる河川です。河床勾配は約 1/30~1/150、川幅 10m 程度となっており、圃場整備とともに河川改修が進められました。河道は、概ねコンクリートブロック護岸とコンクリートの三面張りになっており、周辺には田園風景が広がっています (図 - 1.22) (図 - 1.24)。

石田川は切畑川の左支川で、豊能町内を流れる河川です。河床勾配は約 1/30、川幅 7m 程度となっており、切畑川同様、圃場整備とともに河川改修が進められました。河道は、概ねコンクリートブロック護岸とコンクリートの三面張りになっており、周辺には田園風景が広がっています (図 - 1.22) (図 - 1.25)。

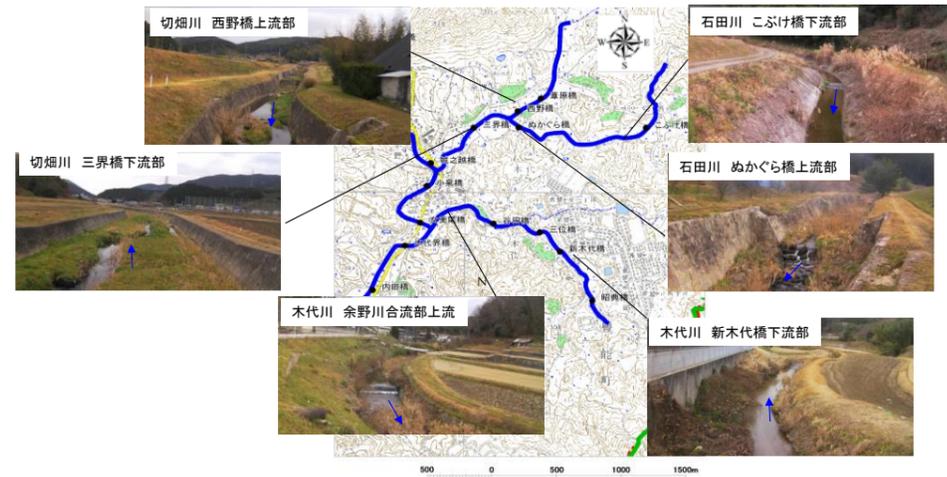


図-1.22 河川状況図(木代川、切畑川、石田川)

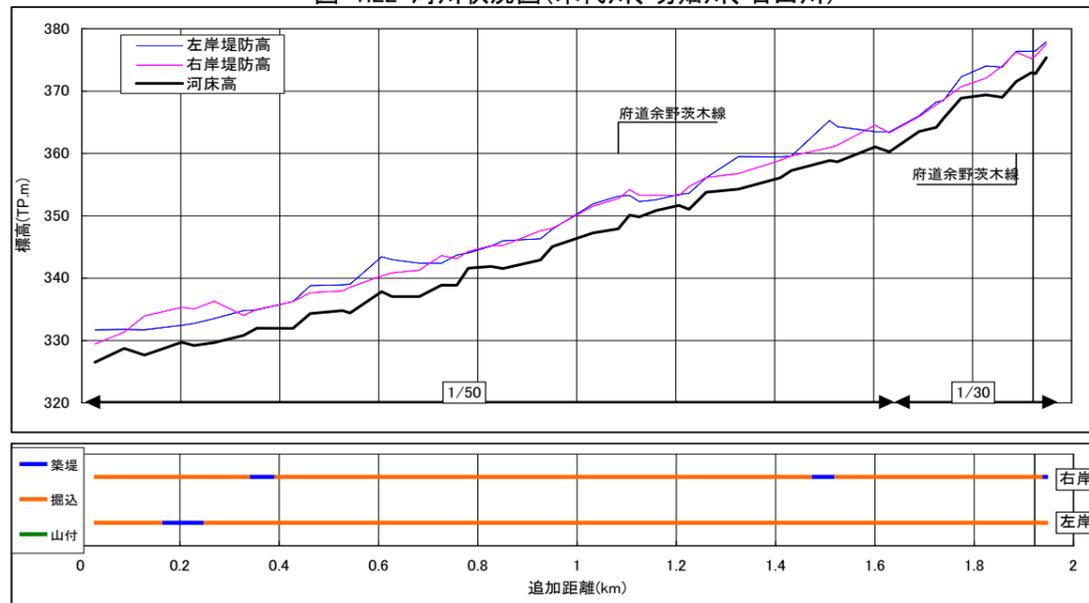


図-1.23 縦断面図(木代川)

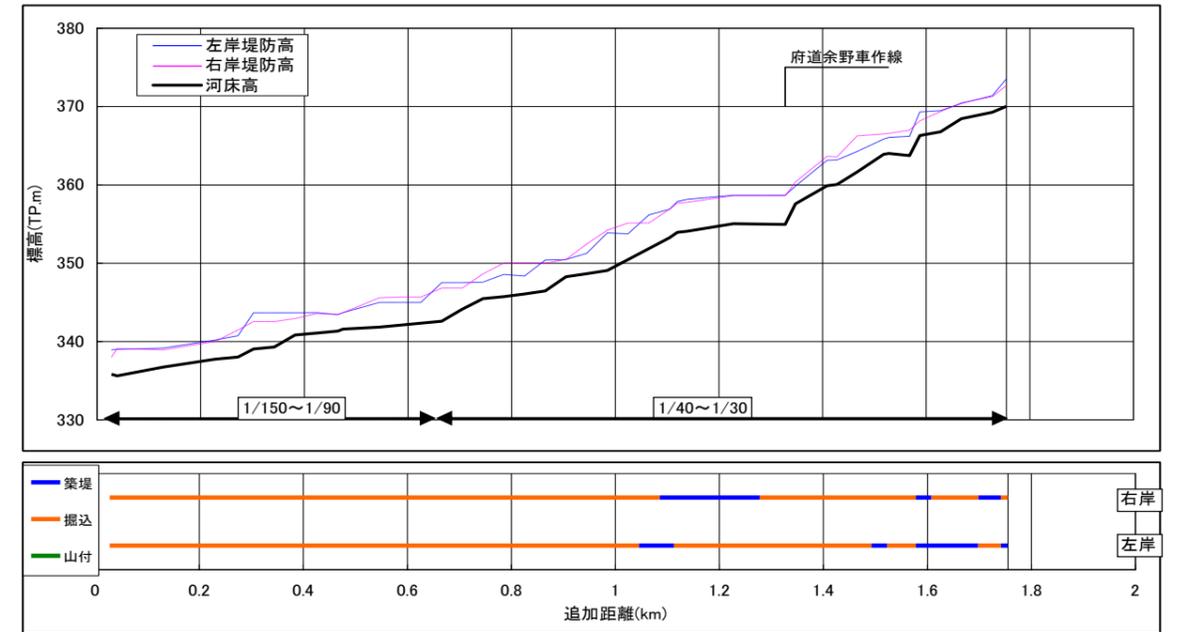


図-1.24 縦断面図(切畑川)

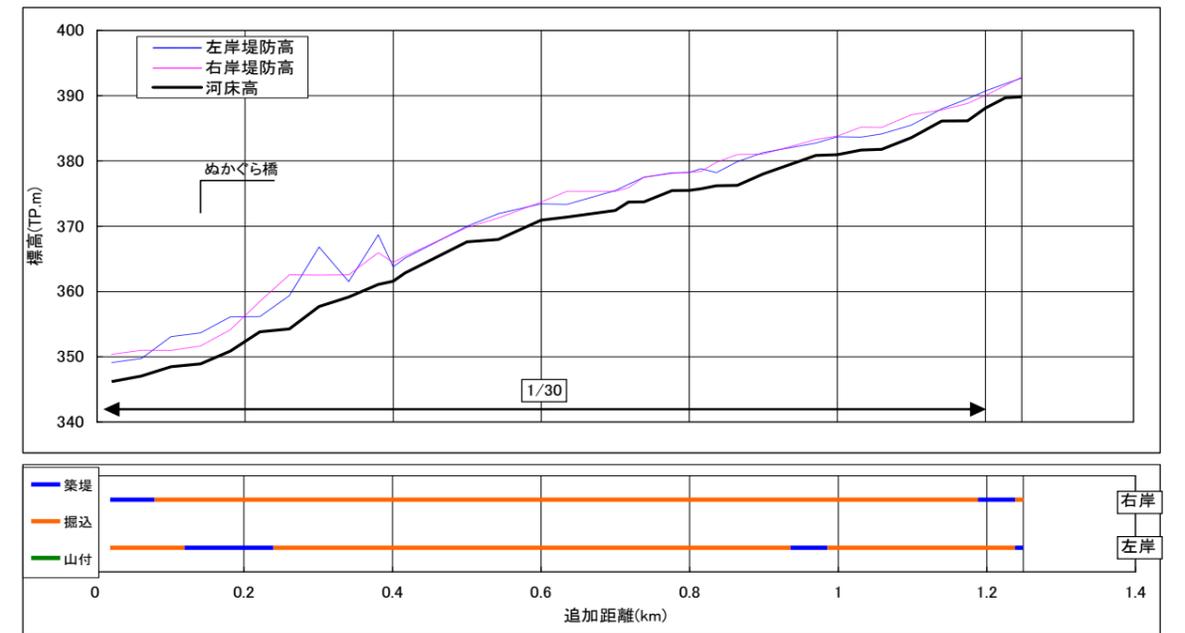


図-1.25 縦断面図(石田川)

(4) 箕面川

箕面川は、豊能町高山地区の山地に源を発し、箕面市と池田市を貫流し猪名川に注ぐ河川です。

下流部（下河原高架橋下流～桂橋）は、河床勾配が約 1/75～1/145、川幅は約 25～15m となっており、護岸沿いに住宅や工場が立ち並ぶ市街地を流れる区間では人工的な河川景観となっており、国道 176 号より上流では、落差工や護床工が多くなります。河道はコンクリートブロック護岸で整備されていますが、緑の多い河川景観です。河床は主に砂礫となっています（図 - 1.26）（図 - 1.27(1)）。

中上流部（桂橋より上流）は国定公園に指定され、自然豊かな山間部となっており、河床勾配は約 1/10～1/95、川幅 10m 程度で、天然河岸が多く河床は露頭し小さな滝が連続する美しい溪流景観を作り出しています（図 - 1.26）（図 - 1.27(2)）。

茶長阪川合流点上流に治水を主目的とした箕面川ダムが建設されており、建設にあたっては、自然環境の保全・回復のための調査研究を行い、それに基づき、自然回復工事を実施し、事後の追跡調査にて、自然回復の効果が認められています。このような事前・事後にわたる自然環境に対する取り組みが評価され、平成 5 年 6 月に環境庁後援の「環境賞」を受賞しました。

下流の猪名川合流点から兵庫県境の 600m は、兵庫県管理区間です。



図-1.26 河川状況図(箕面川)

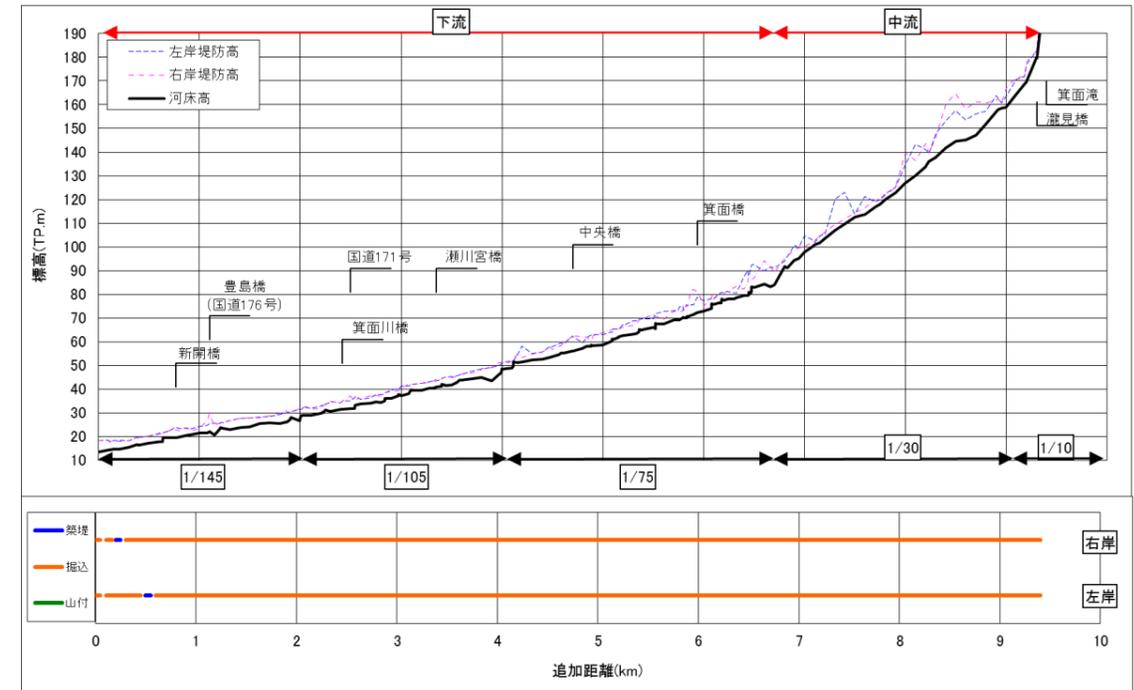


図-1.27(1) 縦断面図(箕面川 下流、中流)

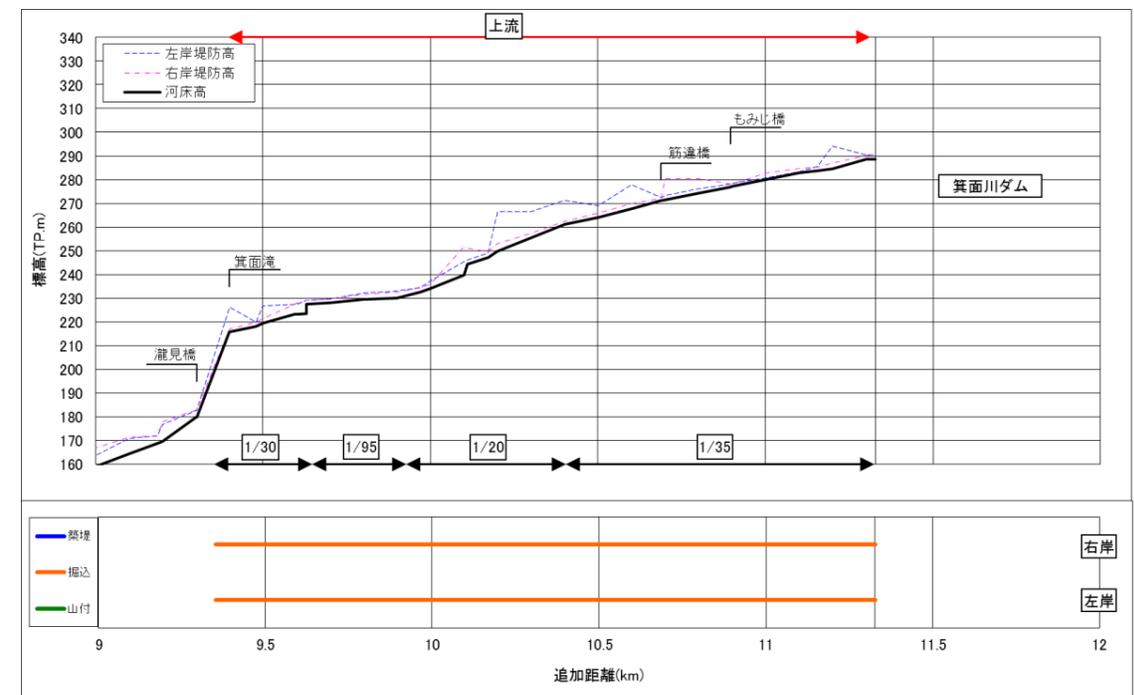


図-1.27(2) 縦断面図(箕面川 上流)

(5) 石澄川、茶長阪川（箕面川支川）

石澄川は、箕面川の右支川で、池田市六箇山北方に源を発し、皿池・中池・尻池等を経て、池田市、箕面市を流れる河川です。河床勾配が約 1/20~1/40、川幅約 10m~5m で、河床は一部、石や礫であるが、大部分に河床張コンクリートが設置されており、周辺は密集した市街地です（図 - 1.28）（図 - 1.29）。

茶長阪川は、箕面川の左支川で、箕面川ダム下流の箕面川に合流する河川です。河床勾配が約 1/10~1/30、川幅 10m 程度で、府道豊中亀岡線沿いの山間部を流れています（図 - 1.28）（図 - 1.30）

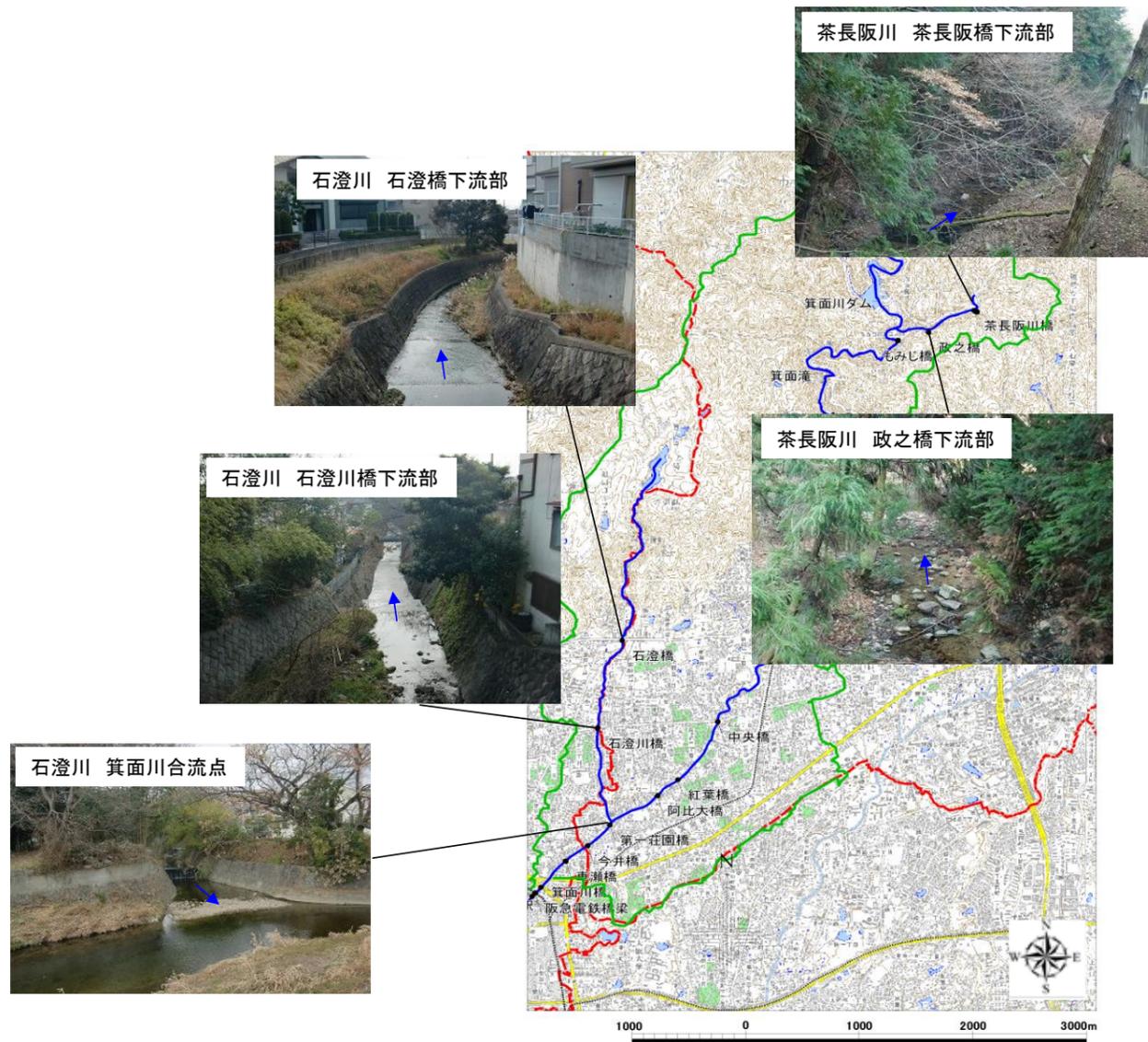


図-1.28 河川状況図(石澄川、茶長阪川)

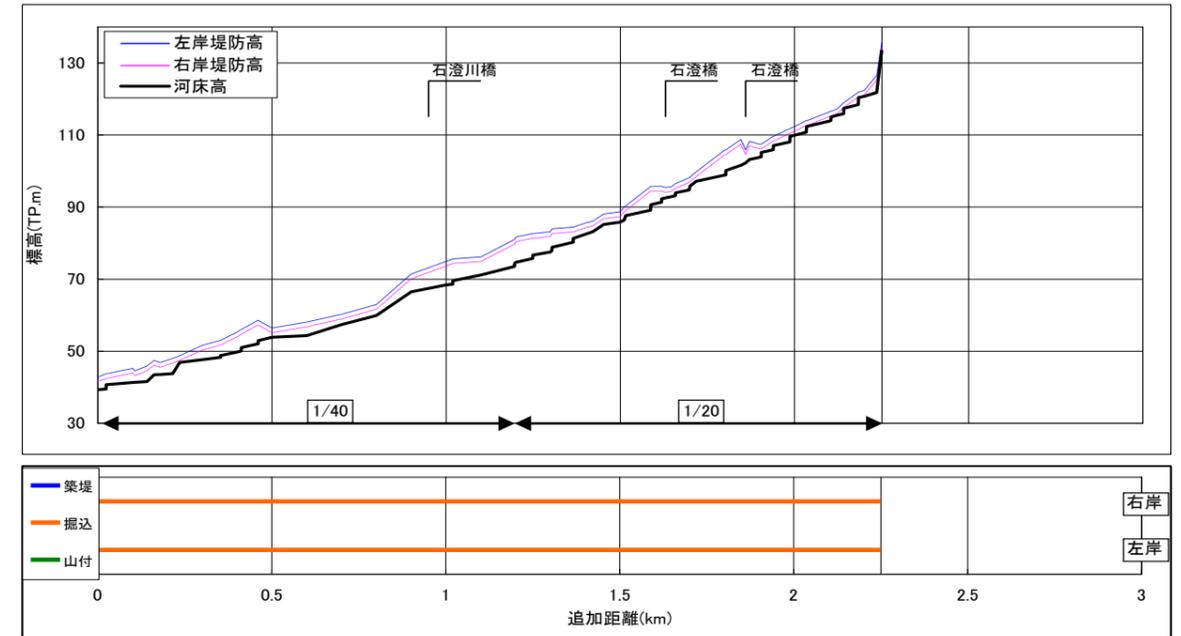


図-1.29 縦断図(石澄川)

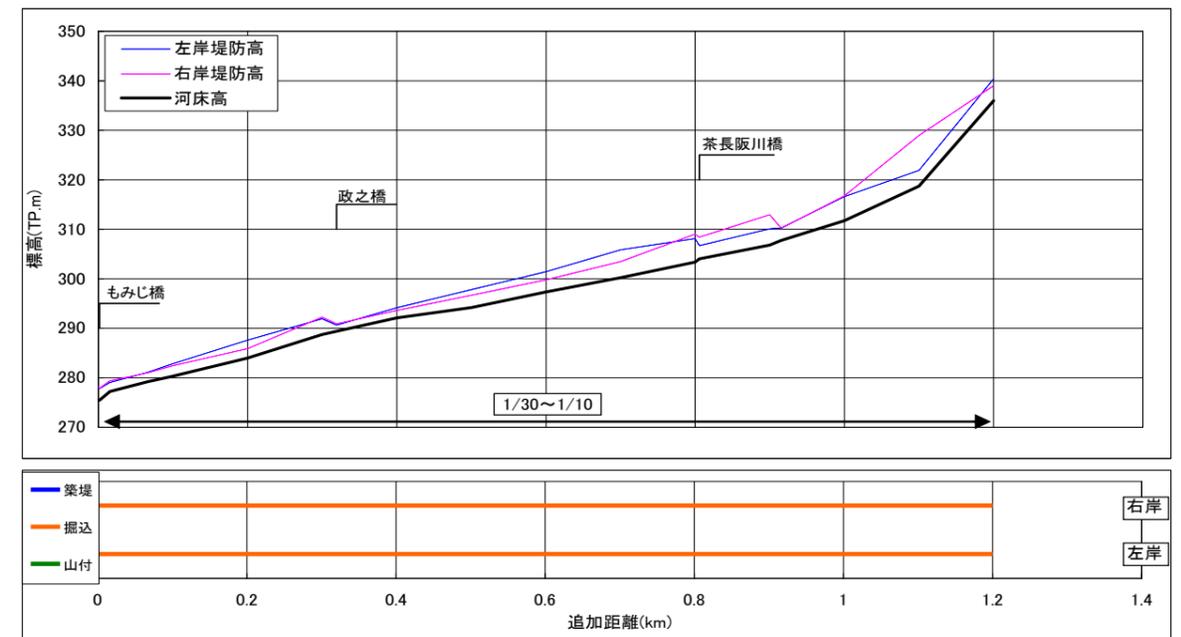


図-1.30 縦断図(茶長阪川)

(6) 千里川

千里川は箕面市の箕面山に源を発し、芋川、箕面鍋田川と合流した後、豊中市の市街地を西南に流下し、大阪国際空港の南側を右岸に接しながら猪名川に注ぐ河川です。河川周辺の都市化が進んでいることから、土砂供給が少なく、河床が低下傾向にあります。河床は全般的に砂となっています。

中下流部では河床勾配が約 1/130~1/340、川幅約 25mで、コンクリートブロック護岸が整備され、画一的な断面区間となっています。

上流部では河床勾配は約 1/30~1/80 となり、川幅は 8 m程度で落差工が増え、人工的な河川景観となっています (図 - 1.31) (図 - 1.32)。

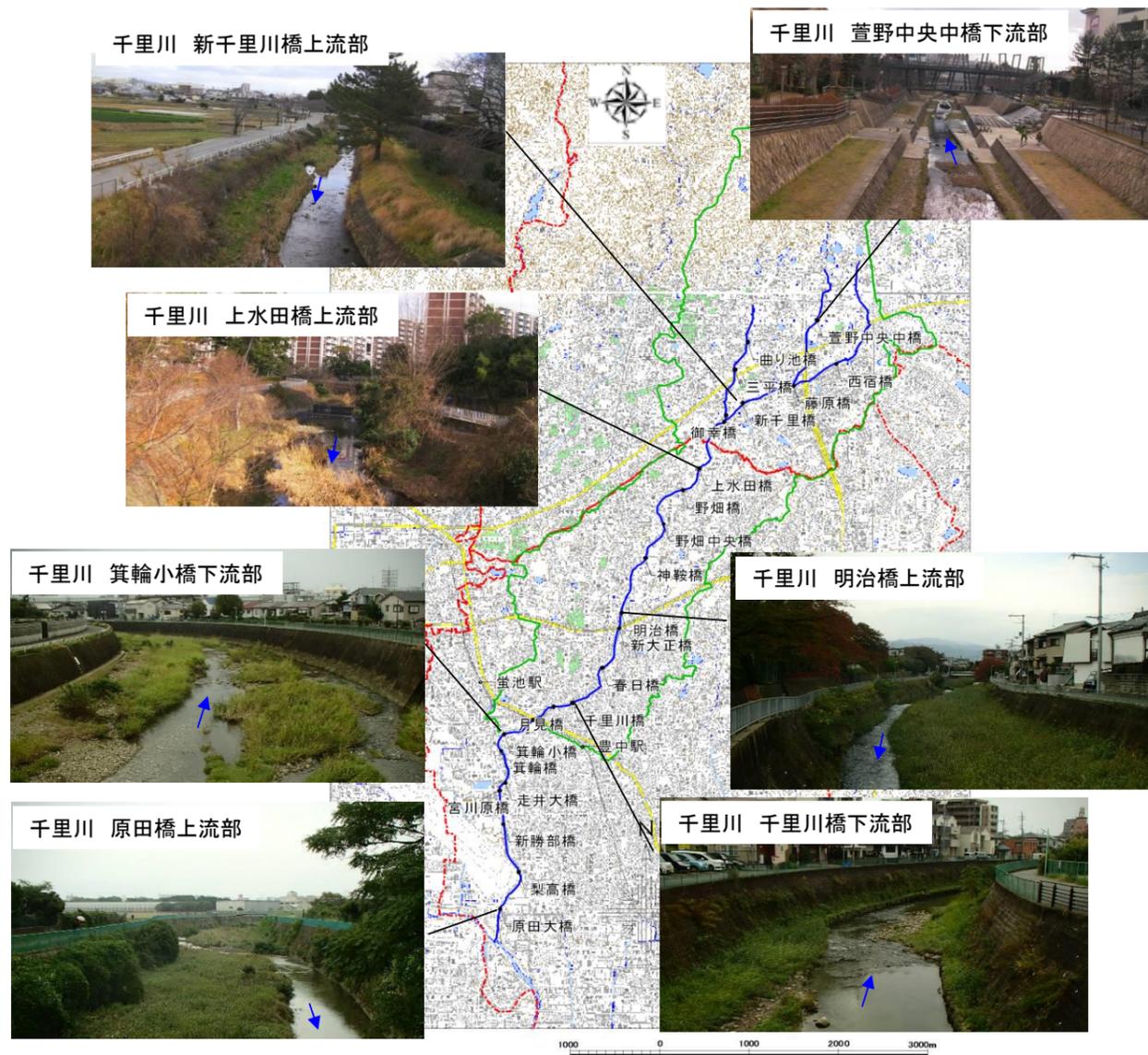


図-1.31 河川状況図(千里川)

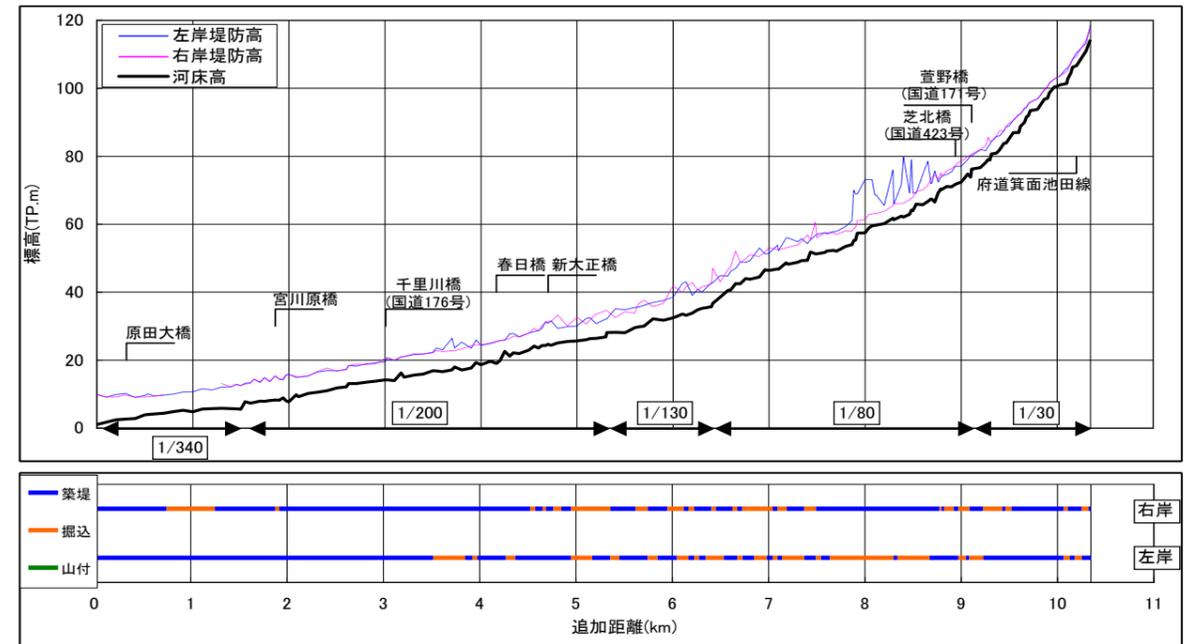


図-1.32 縦断面図(千里川)

(7) 箕面鍋田川、芋川 (千里川支川)

箕面鍋田川は、千里川の右支川で、箕面市如意谷地区に源を発し、箕面市を流れる河川です。河床勾配は約 1/30～1/100、川幅 7m 程度で、下流部は市街地を流れますが、上流部には田園が残っています。河道はコンクリートブロック護岸が整備されています (図 - 1.33) (図 - 1.34)。

芋川は、千里川の左支川で、箕面市石丸の打越池から流れ出し、箕面市を流れる河川です。河床勾配が約 1/60～1/100、川幅 7m 程度で、河道はコンクリートブロック護岸が整備され、河床張コンクリートが設置されています。丘陵地を流れ、川沿いには新興住宅地の中に残った農地が目立ちます (図 - 1.33) (図 - 1.35)。

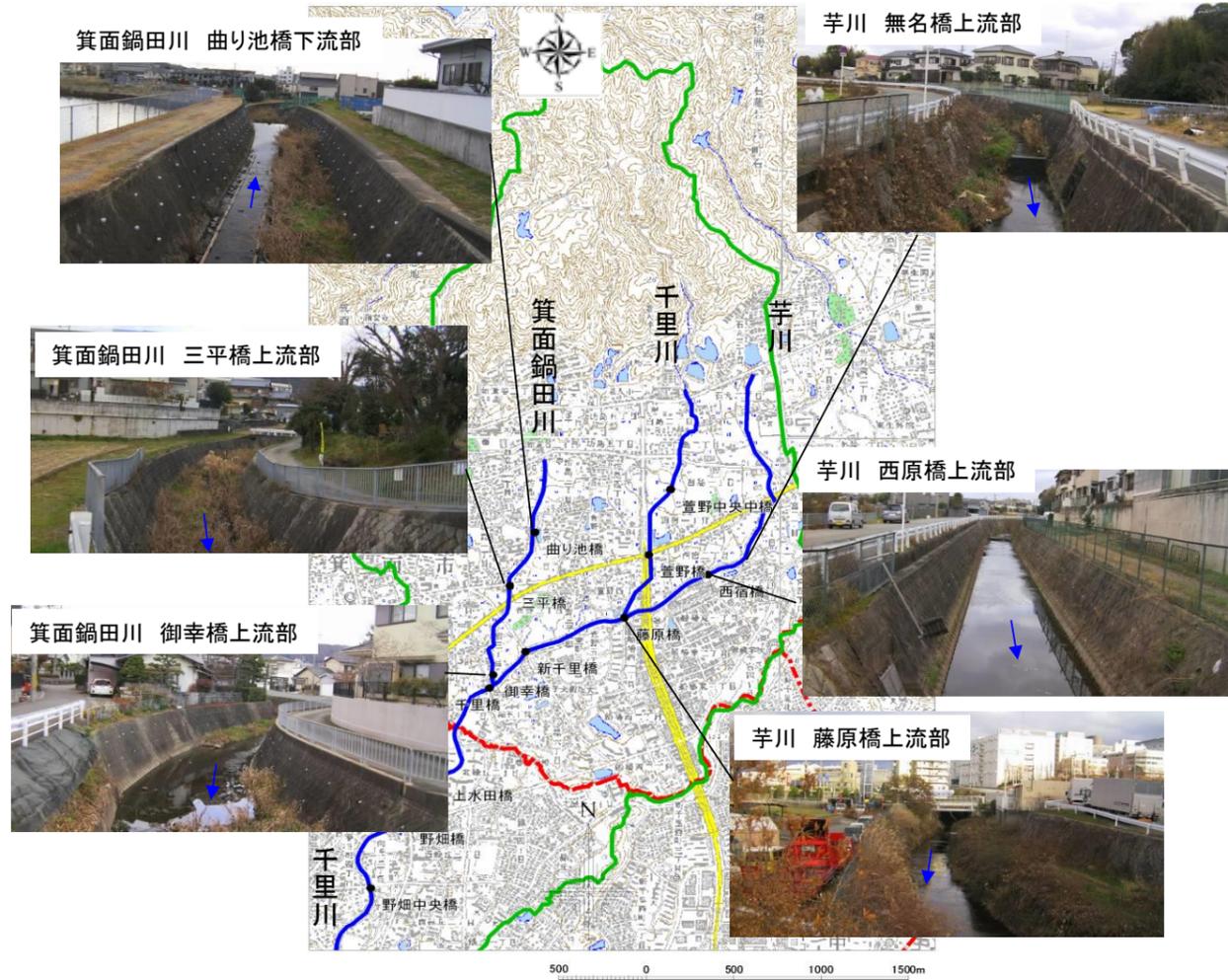


図-1.33 河川状況図(箕面鍋田川、芋川)

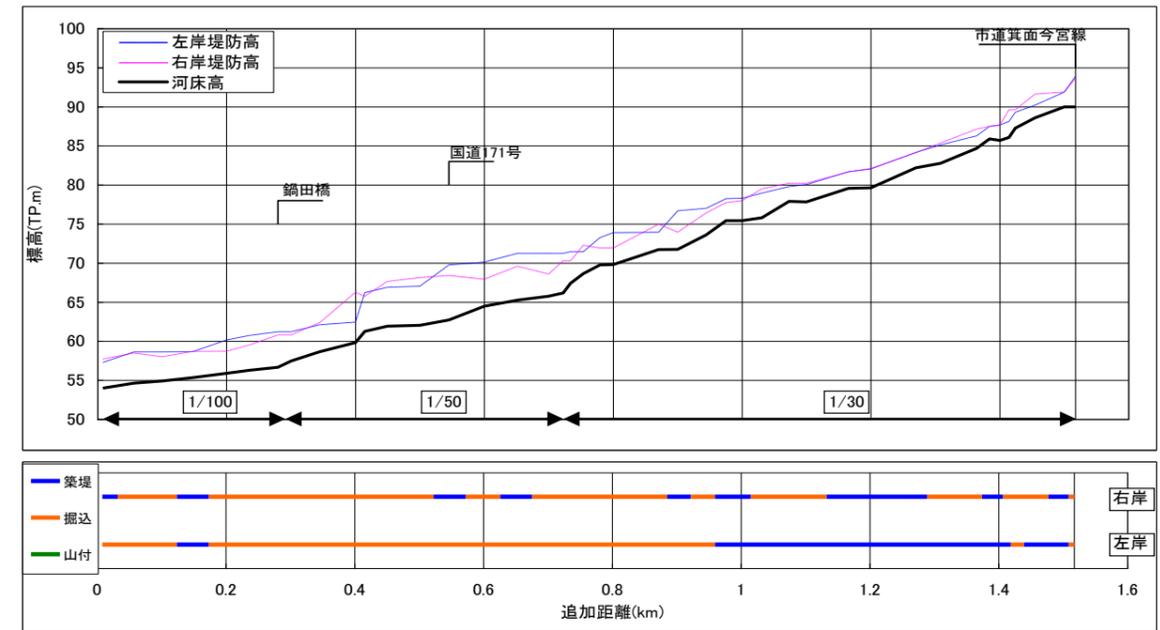


図-1.34 縦断面図(箕面鍋田川)

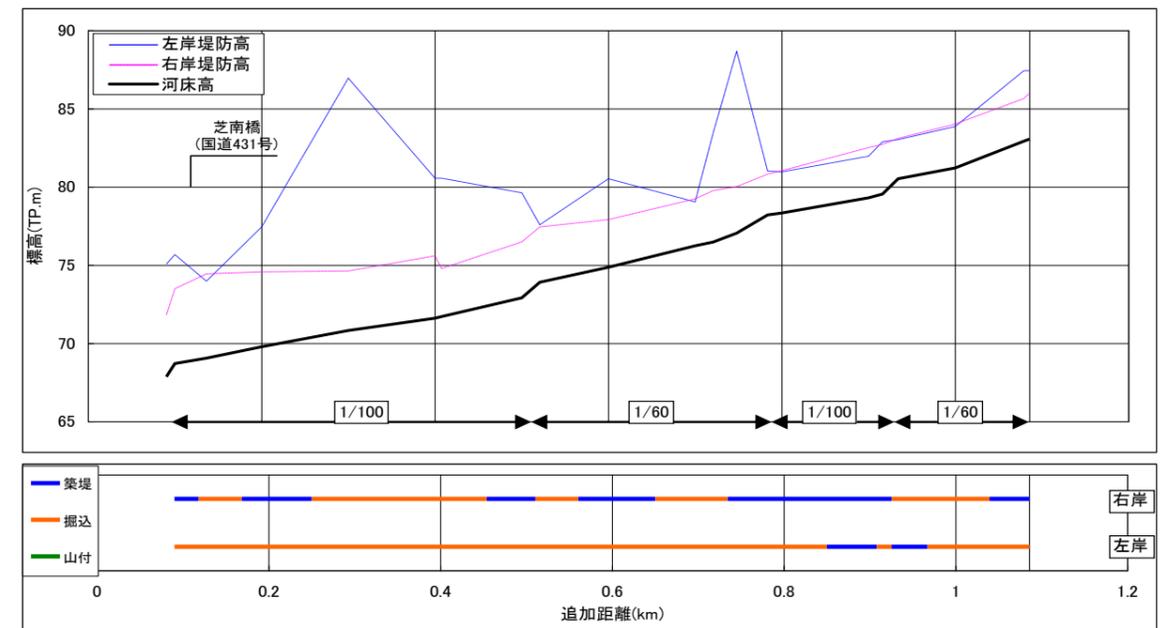


図-1.35 縦断面図(芋川)

(8) 初谷川

初谷川は妙見山につながる天台山、光明山を源とし、上流部は溪谷をなす河川で、河床勾配が約 1/30～1/110、川幅は 10m 程度です。

下流部は豊能町ときわ台や光風台の住宅地を流れ、兵庫県境に至り、一庫・大路次川に合流します。初谷川溪谷は大阪みどりの百景に選出され、自然豊かな河川となっています(図-1.36)(図-1.37)。



図-1.36 河川状況図(初谷川)

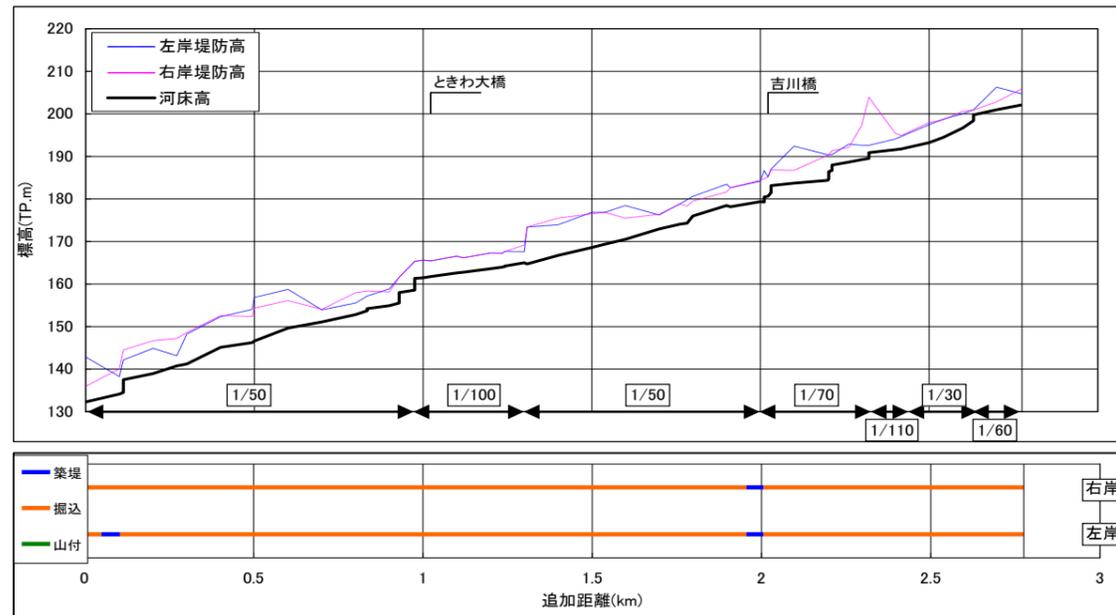


図-1.37 縦断図(初谷川)

(9) 神田川

神田川は池田市内の雨水幹線を流域に持つ河川で、河床勾配は約 1/100、川幅は 6 m 程度で、河道はコンクリートブロック護岸と河床張りコンクリートが設置されております。

下流の猪名川合流点には神田川排水機場、神田排水樋門(ともに国土交通省管理)が設置されています(図-1.38)(図-1.39)。

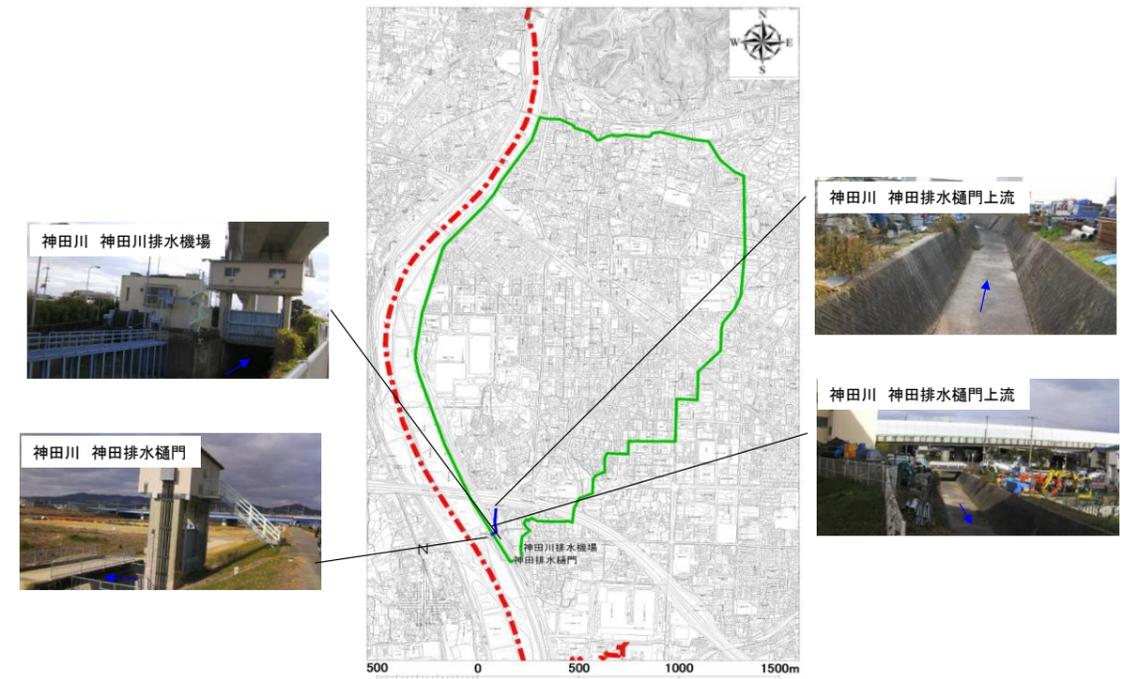


図-1.38 河川状況図(神田川)

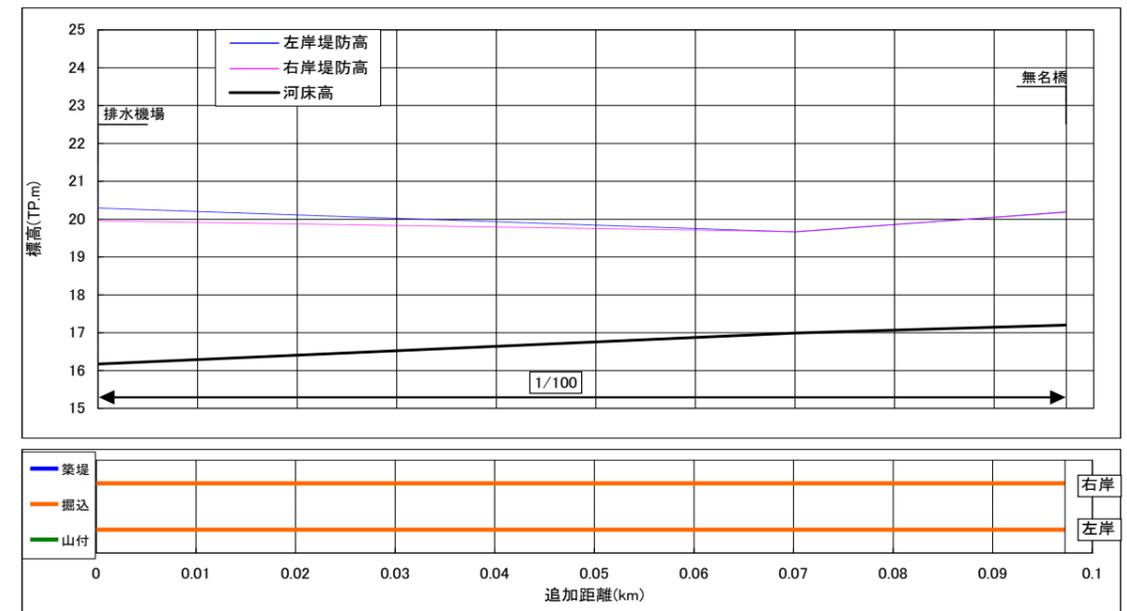


図-1.39 縦断図(神田川)